

関西医科大学 広報



医学部棟横のバラ園

華やかに咲き誇る数々のバラ

Vol.58

CONTENTS

トピックス：学費値下げ・特待生枠拡大	P.1
トピックス：関医タワーホテル開業	P.2
トピックス：THEランキングアジア版・インパクトランキングランクイン	P.6

大学：令和4年度科学研究費助成事業 交付内定者一覧他	P.11
大学：若手研究者特集	P.25
病院：附属病院保育所に病児保育室開設	P.27



令和5年度入学生から 医学部の学費の大幅減額決定。 看護学部も減額、3学部ともに特待生制度も充実。

多様性に富んだ学生に門戸を拡げ、人間性豊かな医療人を育成するために、令和5年度以降入学する医学部・看護学部の学生の学費について引き下げることを決定しました。医学部については6年間の学納金総額を2,770万円から2,100万円とし、従来から670万円、大幅に引き下げることとなりました。特に初年度納入金は、570万円から290万円とし、280万円引き下げとなります。この減額により全国の私立大学で3番目に低い学費となります。

また、看護学部についても学費を引き下げ、4年間の総額は660万円となり、大阪府、京都府の私立大学の中で最少額(令和4年6月現在本学調べ)となります。

【特待生制度】

免除金額や対象枠などを変更し、より充実させます。

●医学部

一般選抜試験(前期)第1次試験合格者の上位30名には、勉学奨励を目的として、初年度納入金のうち、授業料、実験実習費、施設設備費、および教育充実費の全額、合計190万円を免除します。

●看護学部

一般選抜試験3教科型合格者のうち成績優秀者10名には、初年度納入金のうち、授業料、実験実習費、および教育充実費の全額、合計155万円を免除します。

●リハビリテーション学部

特待生数が10名から20名に倍増します。一般選抜試験3教科型合格者のうち成績優秀者20名(理学療法学科：10名、作業療法学科：10名)には、初年度納入金のうち、前期授業料、実験実習費及び教育充実費の合計額96万円を免除します。

学費の大幅減額、
決定しました。

多様性に富んだ学生に門戸を拡げ、
人間性豊かな良医を育成します。

令和5年度(2023年度)より
6年間の学費
2,770万円→2,100万円 (670万円減額)

初年度納入金 570万円→290万円 (280万円減額)
特待生制度も充実します。 ※詳しくは令和5年度入学要項を参照してください。

 関西医科大学 KANSAI MEDICAL UNIVERSITY **医学部**

※問い合わせ先：「入試センター」 TEL:075-860-0100(内線)

令和5年度(2023年度)より
学納金引き下げで
看護師・保健師・
助産師への志を
応援します！

4年間の学費 700万円→660万円

入学検定料と特待生制度も改革します。
一般選抜試験(2・3教科型)の小論文試験を廃止します。



※詳しくは令和5年度入学要項を参照してください。 ※詳しくは「入学要項」をご覧ください。

 関西医科大学 KANSAI MEDICAL UNIVERSITY **看護学部**

※問い合わせ先：「入試センター」 TEL:075-860-0100(内線)

関医タワーホテル開業

本年3月に落成した関医タワーの9階から11階に、関医タワーホテルが6月1日(水)に開業しました。病院が運営する宿泊施設として、大学病院で受ける診断・治療・療養の新しいスタイルが生まれると期待しています。

利用対象者は、附属病院に入院や外来を目的として来院される患者およびそのご家族です。遠方からの受診患者のほかに、治療時間の長い外来化学療法受診患者、連日通院している放射線治療の患者、救命救急センターに搬送された緊急入院患者のご家族などを想定しています。デユースも可能で、外来診療でお疲れになった場合などに気軽にご利用いただけます。また、宿泊中に体調が不良となった場合は、すぐそばの救命救急センターが適切に対応しますので、患者さんにも不安なく過ごしていただけます。

フロントは8時から22時まで有人対応していますが、その他の時間は救急外来窓口で宿泊受付しますので、救急搬送された患者ご家族の深夜チェックインも可能です。

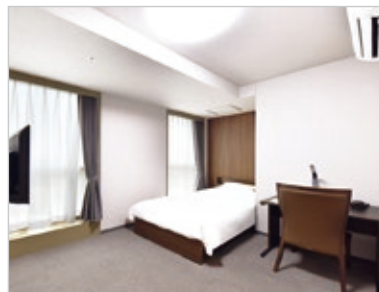
また前日、5月31日(火)にホテル開業に合わせ、山下敏夫理事長、澤田敏副理事長、附属病院松田公志病院長が出席し、テープカット式が行われました。



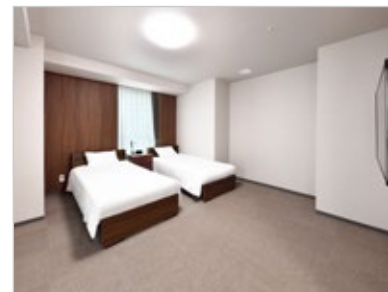
テープカット式の様子



ホテルロビー



シングルルーム



ツインルーム

施設概要	
客室数	24室(シングルルーム15室、ツインルーム8室、バリアフリー1室(ツイン))
設備、備品	ベッド、バス、トイレ、テレビ、冷蔵庫、机、椅子、ドライヤー、金庫、無料Wi-Fi
利用料金	シングルルーム(1室1名)：5,500円(消費税込)
	ツインルーム(1室2名)：8,500円(消費税込)
	デユース(3時間)：シングルルーム3,000円(消費税込)・ツインルーム4,500円(消費税込)
チェックイン	15：00～22：00
チェックアウト	10：00
ご利用できる方	関西医科大学附属病院を受診される方やそのご家族(外来/入院)
予約方法	関西医科大学附属病院HP内 予約専用サイトから予約可能 https://kmuth.rsvsys.jp/reservations/calendar
電話お問い合わせ先	関医タワーホテル ☎072-804-2191



予約サイトQR

光免疫医学研究所 部門紹介

4月1日(金)に開設した光免疫医学研究所の3部門のうち、基盤開発部門と免疫部門についてご紹介いたします。

光免疫医学研究所 基盤開発部門について

基盤開発部門長 花岡 宏史 研究所教授

関西医科大学附属光免疫医学研究所が令和4年の4月に開所となりました。光免疫療法に関する基礎研究と臨床治療のサポートを行う研究所として、光免疫療法に必要な最新の機器を整備し、日本における光免疫療法の中心研究拠点となる研究所を目指していきます。基盤開発部門は研究所に設置される3つの研究部門のうちの一つであり、光免疫療法用の新規薬剤開発や評価等の基礎的な研究を行います。現在は教員3人という体制ですが、今後、適切な人材の確保を進め、効率的に研究を推進できる体制を構築したいと考えています。基盤開発部門で実施する新規薬剤開発には、薬剤の標的として適した分子の探索が必須であり、またその分子に結合する抗体等の母体化合物が必要となります。従って、皆様方と密に連携し様々な情報を共有させていただくことで、画期的な成果が得られると考えており、積極的に共同研究を推進できたらと思います。さらに光免疫療法の研究拠点としてふさわしい環境を構築し、国内他施設の研究者との共同研究も積極的に行っていく予定です。大学や研究所だけでなく民間企業との共同研究も行うことで、光免疫療法に関連する機器や器具の開発にも貢献できればと考えております。

光免疫医学研究所 免疫部門で目指すもの

免疫部門長 福山 英啓 研究所教授

光免疫療法は、がん細胞を特異的に認識する抗体にがんを殺傷する光感受性化合物を付加した抗体製剤を用います。この製剤を体内に投与、製剤が集積したがん組織に光を当てることで、この化合物が変化し、がんを攻撃します。がん細胞は、さまざまな組織で刻々と変化し、多様な顔を持ちます。がん撲滅実現への鍵は、どれだけたくさん“武器”となる抗がん抗体を用意できるかだと考えています。令和4年度からスタートした私たちの研究室では、2つのことに挑みます。1つは“ヒト”治療抗体ハンティング。臨床の先生方と協力して、ヒトの免疫にフォーカスし、これまでにない手法で、網羅的に“ヒト”抗体を見つけ出し、さまざまな治療抗体を創出していきます。2つ目の挑戦は、ヒト免疫記憶構築の精密な設計図を描くことです。医療という形でワクチンがヒトに投与されてから、100年以上が経ちます。どのワクチンも、材料の違いはあるにせよ、あたかも同じコンセプトで作られているように見えます。ただ、持続性、効果などは、どれ一つとして同じではありません。また、動物モデルで示されているほど、ヒトの免疫記憶は簡単ではないことがわかってきています。本学において、がんに限らず、感染、ワクチンなどによるヒトの免疫記憶の多様性、複雑性について、その謎の解明に挑んでいきます。私たちは、100年先の未来の抗体治療、並びにワクチンの開発を目指します。

光免疫医学研究所開設記者会見について

4月20日(水)枚方キャンパス医学部棟加多乃講堂において、光免疫医学研究所の開設記者会見を行い、新聞社やテレビ局をはじめ多数のメディアにご出席いただきました。

会見では山下敏夫理事長が研究所設立までの経緯や理事長としての思いについて、友田幸一学長が光免疫医学研究所と附属病院光免疫療法センターの連携について、木梨達雄研究担当理事・副学長が研究所の目的や体制について、小林久隆光免疫医学研究所所長が研究所の意義、今後の展望についてそれぞれ説明したのち、メディアからの質問に答えました。



記者会見の様子



令和3年度事業報告

本学の令和3年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。

今後は、附属病院別館建設、総合医療センター西館建設なども踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

法人

●タワー棟建設計画

「関医タワー」(国際化推進センター、留学生宿舍、関医タワーホテル(患者家族等宿泊施設)の機能を兼ね備えた複合施設)の建設工事を推進し、1月に竣工しました。

●関西医科大学附属光免疫医学研究所

1月に枚方キャンパス医学部棟の4階、7階、11階に光免疫医学研究所専用の施設が完成しました。

●附属病院別館建設

本事業の基本計画に基づき、基本設計を完了し、別館の実施設計作業を進めました。

●リハビリテーション学部設置準備

4月、牧野キャンパスにリハビリテーション学部が開設されました。

教育

■医学部・医学研究科

●医師国家試験合格率

医師国家試験新卒者合格率は98%、私立医科大学30校中6位、全国医科大学81校中16位で好結果となりました。

●国際大学院の準備

国際大学院プログラムの入試及びカリキュラムを構築しました。

■看護学部・看護学研究科

●国家試験合格率

看護学部は設置後初の卒業生を輩出し、国家試験においては「看護師」(合格率98.9%)、「保健師」(合格率95.8%)、「助産師」(合格率100%)ともに全国大学合格率を上回り、本学関連病院に70名が就職しました。

●新領域設置

大学院では「がん看護学領域」の認可を申請し、文部科学省から承認を受けました。

■リハビリテーション学部

●開部初年度

開部初年度で教養科目を中心に基礎専門科目を開講しました。

●認証評価

大学基準協会による認証評価を受審し、「大学基準に適合している」との評価を得ました。

研究

●科研費等獲得増加

令和3年度の214件から、令和4年度の229件へと、科研費の新規・継続の採択件数が増加しました。

●日本医療研究開発機構(AMED)公募課題採択

AMEDが公募する課題に研究代表者として9件、AMED橋渡しプログラムに7件が採択されました。

診療

■附属病院

●医療機器更新

手術映像保存配信システム、整形外科におけるロボティックガイドナビゲーションの導入の他、CT装置、マンモグラフィーの更新など、大学病院としての機能向上に努めました。

●救急医療充実

コロナ禍においても「断らない病院」の実現を掲げ、救急患者の受入れに努め、救急搬送年間約4,000件を維持しました。

●COVID-19に対応した検査体制の整備

フィルムアレイ全自動遺伝子解析装置、迅速性に優れたNEAR法PCR装置の新規導入、全自動核酸抽出増幅システム増設により、自院でのPCR検査体制の拡充に努めました。

■総合医療センター

●COVID-19患者の診療

大阪コロナ重症センターの開設により、1S病棟、4S病棟をCOVID-19病棟とし、多くの新型コロナウイルス患者を受け入れました。

■香里病院

●救急医療体制の構築

1月からER体制をスタートさせました。救急搬送受入件数は、昨年の210件から328件と大幅に増加しました。

●総合診療科の設置

10月に総合診療科を設置し、診療機能の強化と卒後臨床教育体制の充実を図りました。

■くずは病院

●病床機能再編

地域包括ケア病床10床を急性期病床に転換しました。

■天満橋総合クリニック

総合健診センターを主とした予防医療部門及び外来部門とも収入は増加しました。



中期計画（2022～2027）について

平成27年に策定された中期計画が終了し、新たな中期計画を「教育・研究・国際化」、「医療事業」、「健康・予防医療・介護・リハビリ事業」、「施設整備」、「経営管理」、「財政」、「人事」、「社会貢献」の8分野について策定しました。

令和3年度・令和4年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

令和3年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告及び令和4年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1、令和3年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

年次監査

- 1)「公的研究費の管理状況(令和2年度対象)」
- 2)「情報システム」
- 3)「大学院」

2、令和4年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：「公的研究費の管理状況(令和3年度対象)」
監査対象部門：研究部研究課及び関連部門
監査日程：令和4年6月～7月
選定理由：「公的研究費の管理・監査体制に関する規程」
第36条に定める内部監査

2) 監査項目：「医療安全活動」

監査対象部門：本学全医療施設医療安全管理部及び関連部門
監査日程：令和4年9月～10月
選定理由：平成27年度内部監査「医療安全活動」以降の整備状況・現状点検

3) 監査項目：「メンタルヘルスマネジメント」

監査対象部門：法人健康管理部及び関連部門
監査日程：令和4年11月～12月
選定理由：職員のメンタルヘルスマネジメントの「職場環境の改善」「人材の育成」における重要性

以上

附属病院臨床検査医学センター担当センター教授に就任して

臨床検査医学センター担当センター教授 神田 晃

6月1日付けで、関西医科大学附属病院臨床検査医学センターの担当センター教授を拝命いたしました。担当センター教授を拝命し、重責に対して、身の引き締まる思いです。臨床検査医学センターは、検査業務だけでなく、教育にも寄与することを目的とし、令和3年4月に臨床検査部から名称が変更されました。

さて、臨床検査医学は19基本学会の一つですが、その認知度はあまり高くありません。しかし、臨床検査は、日常診療を遂行する上で重要な役割を果たしており、緑の下の力持ちとして病院を支えています。臨床業務としては、各診療科からご依頼いただいた、一般検査(主に尿検査)、免疫・生化学検査、血液検査、細菌検査、遺伝子検査、検体採取、生理機能検査の報告を行っています。迅速かつ高品質の検査結果を報告することが出来るよう、臨床検査医学センターの職員と共に日々努めています。

臨床検査に関わる教育に関しては、本学の建学の精神である「慈心眼鏡」、慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを目標にした教育を行っていく所存です。「調和のとれた豊かな人間性」、「自主的かつ積極的に医療に貢献する姿勢」、「確立された知識と技術に基づいた安全・安心な医療を提供する能力」を掲げ、学部生および卒業後に尽力し、キャリアアップをはか

ることが出来る環境体制を構築していきたいと考えています。また、国内留学および海外留学で培ってきた経験を生かし、外部資金の獲得、大学院生の育成、国際交流に尽力して参ります。

末筆になりますが、これまでご指導いただいた先生方に、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。学校法人関西医科大学の発展に貢献できるよう、臨床・教育・研究、そして人材育成に全力で取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく願います。



略 歴

平成 6年 5月	関西医科大学 耳鼻咽喉科入局
平成12年 4月	秋田大学医学部統合医学講座 臨床検査医学分野 入局
平成16年 3月	秋田大学大学院医学系研究科臨床検査医学分野専攻 修了
平成16年 4月	秋田大学医学部統合医学講座 臨床検査医学分野 助教
平成16年10月	フランス・リール パスツール研究所 PhD fellowship
平成23年 4月	関西医科大学 病理学第一学講座 講師
平成24年 9月	関西医科大学 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学講座 講師
平成29年 4月	関西医科大学附属病院 臨床検査医学科・臨床検査部 副部長
令和 2年 4月	関西医科大学 臨床病理学講座 准教授
令和 3年 1月	関西医科大学附属病院 臨床検査医学科・臨床検査部 病院教授
令和 3年 4月	関西医科大学附属病院 臨床検査医学センター センター長
令和 4年 4月	関西医科大学附属病院 臨床検査医学センター 担当センター教授

世界大学ランキングアジア版・インパクトランキングにそれぞれランクイン

6月1日(水)、英国の高等教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(THE)」は、THEアジア大学ランキング2022を発表、本学は『142』位にランクインしました。同ランキング2021の『144』位からランクアップしており、国内では国公私立の総合大学を含めて13位、関西地区では3位という成績です。



このランキングは、毎年公表されている国際的な大学ランキングのアジア版であり、教育力、研究力、研究の影響力(論文の引用数)、国際性、産業界からの収入の5分野をスコア化し、総合力を測ったもので、ほかのランキングと比べて研究力と教育力に比重を置いた評価が特徴です。これにより、相対的な順位が世界ランキングとは一部、異なっています。今回評価項目の中で、本学は「学生一人あたりの教員数」や「研究の影響力(論文の被引用数)」において特に高い評価を得ました。

また4月28日(木)に発表されたTHEインパクトランキング2022では、本学は総合順位『1001+ /1410校』にランクインしました。同ランキング2021の『1001+ /1117校』から相対的にランクアップしており、中でもGoal 3(保健)の分野では『101-200位/1101校』と、上位に位置しています。

慈仁会役員・看護学部保護者会役員・リハビリテーション学部保護者会役員について

4月5日(火) 15時15分から枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにおいて「令和4年度慈仁会定期総会」が、6月4日(土) 11時から枚方キャンパス看護学部棟2階講義室1において「令和4年度関西医科大学看護学部保護者会総会」が、4月5日(火) 15時30分から枚方キャンパス医学部棟加多乃講堂において「令和4年度関西医科大学リハビリテーション学部保護者会総会」がそれぞれ開催されました。また、本年度の各学部保護者会主要役員は以下の方々です。

慈仁会主要役員

- 委員長 坂部 一夫
- 会計委員 月川 裕恵
- 監事 羽原 弘造
- 監事 永末 純子

看護学部保護者会主要役員

- 会長 村本 郁子
- 理事 吉松 佳子
- 理事 山本 綾
- 理事 酒井香代子
- 理事 小西 一誠
- 理事 角田 美樹
- 理事 澤邊 恵理
- 理事 青木 美貴
- 理事 上田 万喜
- 会計 弘中 礼子
- 監事 後藤 宏美
- 監事 村尾美紀子

リハビリテーション学部保護者会主要役員

- 委員長 松森 恵理
- 理事 木村 和男
- 理事 原田 義広
- 理事 口石 恵美
- 理事 眞野 浩
- 会計 長崎 妙子
- 監事 河本 昌信
- 監事 百瀬 嘉洋

名誉教授称号授与式

本学名誉教授称号授与規程の定めるところにより、教授会の議を経て、野村昌作内科学第一講座前教授、福永幹彦心療内科学講座前教授、片田範子看護学部前学部長・看護学研究科前研究科長へ、それぞれ名誉教授の称号が授与されることとなりました。

6月17日(金)に枚方キャンパス医学部棟13階応接室において、名誉教授称号授与式が執り行われ、友田幸一学長から名誉教授称号が野村内科学第一講座前教授、福永心療内科学講座前教授にそれぞれ授与されました。

※片田看護学部前学部長・看護学研究科前研究科長は所用によりご欠席



野村内科学第一講座前教授(左)、友田学長(中)、福永心療内科学講座前教授(右)



「施設設備整備拡充事業資金」の募集のご案内

令和3年度募金実績報告

コロナ禍にもかかわらず、皆様より温かいご支援を賜りました。関医タワー、附属光免疫医学研究所等の施設設備整備拡充事業に充当させていただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

	件数	金額(円)
同窓生	1	100,000
保護者	22	26,200,000
関連業者	1	500,000
教職員	1	100,000
その他	1	14,000,000
相続・遺贈	3	5,000,000
	29	45,900,000

令和4年度募集要項

募金の目的：関西医科大学施設設備整備拡充事業資金
 募集主体：学校法人関西医科大学
 募集対象：保護者、同窓会員、本学関連の個人及び法人、その他

所得税が最大40%減額されます

詳細は募金室ホームページをご覧ください。募金室までお問い合わせください。

なお、この募金の応募は任意です。

関西医科大学法人事務局募金室
 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
 TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344
 メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp
 HP：https://www.kmu.ac.jp/donation/index.html

令和4年4月から令和4年6月までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	6月17日	名誉教授称号授与式
大学	4月4日	看護学部面接マナー講座
	4月24日	看護学部オープンキャンパス
	5月14、15日	高齢者の心と体の健康チェック2022in牧野キャンパス
	5月15日	第92回解剖体追悼法要・遺骨返還式
	5月31日	3学部合同授業
	6月19日	リハビリテーション学部オープンキャンパス
	6月27日	ヴィリニクス大学とのオンライン会議
附属病院	6月29日	業務改善コンテスト
	4月11日	業務改善コンテスト
	4月16日	第1回附属病院地域連携WEBセミナー
	4月25日	保育所病児保育室開設
	5月20日	無料Wi-Fiサービス開始
	5月31日	関医タワーホテルテークアウト式
	6月1日	関医タワーホテル開業
総合医療センター	6月20日	近畿4私立医科大学医療安全連絡会
	6月27日	がん教育講演会
	5月23日	Webがんサーボード
香里病院	6月13日	がんサーボード
	6月23、24日	病院機能評価受審
卒後臨床研修センター	5月28日	地域で考える骨粗鬆症連携セミナー
	4月24日	民間医局レジナビフェア2022大阪～専門研修プログラム～
	5月1日	臨床研修プログラム説明会「マイナビRESIDENT FESTIVAL」
	5月21日	令和5年度採用専門研修プログラム説明会
	5月27、28日	令和4年度第1回 臨床研修指導医養成講習会開催
	6月7日	令和5年度採用研修医Web説明会「研修医と語る会」



業務改善コンテスト(附属病院)



看護学部面接マナー講座



リハビリテーション学部オープンキャンパス

令和5年度医学部入学試験概要

医

試験実施日程

	特別枠 学校推薦型 選抜試験	一般枠 学校推薦型 選抜試験	特色 選抜試験	一般選抜試験 (前期)	大学入学 共通テスト ・ 一般選抜試験 併用試験	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (前期)	一般選抜試験 (後期)	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (後期)
募集人数	10名	10名	7名	53名	13名	12名	5名 [*] ※一般選抜試験(後期)と大学入学 共通テスト利用選抜試験(後期) 合わせて5名募集します	
募集区分	専願制	併願制	併願制	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠
出願期間 (当日消印有効)	令和4年11月9日(水) } 11月30日(水)			令和4年12月24日(土) } 令和5年1月12日(木)			令和5年2月1日(水) } 2月16日(木)	
第1次 試験日	令和4年 12月11日(日)			令和5年 1月28日(土)	令和5年 1月14日(土)・ 15日(日)・ 28日(土)	令和5年 1月14日(土)・ 15日(日)	令和5年 3月4日(土)	令和5年 1月14日(土)・ 15日(日)
第1次 合格者発表	令和4年 12月13日(火)			令和5年 2月7日(火)	令和5年 2月10日(金)		令和5年 3月10日(金)	
第2次 試験日	令和4年 12月17日(土)			令和5年 2月11日(土)	令和5年 2月18日(土)		令和5年 3月14日(火)	
第2次 合格者発表	令和4年 12月23日(金)			令和5年 2月16日(木)	令和5年 2月24日(金)		令和5年 3月17日(金)	
手続完了 期 限	令和5年 1月6日(金)			令和5年 2月24日(金)	令和5年 3月3日(金)		令和5年 3月24日(金)	

※詳細は、令和5年度医学部学生募集要項をご確認ください。

令和5年度看護学部入学試験概要

看

試験実施日程

	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験	
	専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	3教科型
募集人数	25名	5名	20名	40名	5名	5名
インターネット 出願期間	令和4年11月1日(火) } 令和4年11月11日(金)		令和4年12月12日(月) } 令和5年1月18日(水)		令和4年12月12日(月) } 令和5年1月12日(木)	
書類提出 期 限	令和4年11月11日(金) 消印有効		令和5年1月18日(水) 消印有効		令和5年1月12日(木) 消印有効	
試 験 日	令和4年11月27日(日)		令和5年2月3日(金)		令和5年1月14日(土)・1月15日(日)	
試験会場	枚方キャンパス医学部棟		枚方キャンパス医学部棟		大学入学共通テスト各自受験地	
合 格 者 発 表	令和4年12月3日(土) [*]		令和5年2月15日(水) [*]		令和5年2月15日(水) [*]	
手続完了 期 限	令和4年12月14日(水)		令和5年2月24日(金)		令和5年2月24日(金)	

※合格者発表は、本学ホームページ上でを行います。また、枚方キャンパス看護学部棟エントランスホールに掲示します。
入館は、第1・3・5土曜日は13時までです。第2・4土曜日は入館できません。

令和5年度リハビリテーション学部入学試験概要

リ

試験実施日程

		総合型選抜試験 (旧AO入試)	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験
			専願	併願	2教科型	3教科型	
人員募集	理学療法学科	10名	20名	10名	4名	13名	3名
	作業療法学科	6名	12名	8名	2名	10名	2名
出願期間 (当日消印有効)		令和4年9月26日(月) } 令和4年10月6日(木)	令和4年11月7日(月) } 令和4年11月11日(金)		令和4年12月12日(月) } 令和5年1月18日(水)		令和4年12月12日(月) } 令和5年1月27日(金)
書類提出期限		令和4年10月6日(木) 消印有効	令和4年11月11日(金) 消印有効		令和5年1月18日(水) 消印有効		令和5年1月27日(金) 消印有効
試験日		A日程 令和4年10月15日(土) B日程 令和4年10月22日(土)	令和4年11月19日(土)		令和5年2月3日(金)		独自試験なし
試験会場		牧野キャンパス リハビリテーション学部棟			枚方キャンパス 看護学部棟		大学入学共通テスト 各自受験地
合格発表日		令和4年11月1日(火)	令和4年12月1日(木)		令和5年2月15日(水)		
手続完了期限		令和4年11月11日(金)	令和4年12月9日(金)		令和5年2月24日(金)		

※合格者発表は、牧野キャンパスリハビリテーション学部棟エントランスホールに掲示します。入館は、第1・3・5土曜日は13時までです。第2・4土曜日は入館できません。

令和5年度大学院医学研究科学生募集要項（修士・博士課程）

医

令和5年度学生募集を下記のとおり開始しました。

- 募集人員 医科学専攻修士課程計8名・医学専攻博士課程計50名
※第一次募集で定員に達した場合は、追加募集は実施いたしません。

■試験概要

	医科学専攻修士課程		医学専攻博士課程	
	第一次募集	追加募集	第一次募集	追加募集
入学願書 受付期間	令和4年6月22日(水)～ 令和4年8月17日(水) 【当日消印有効】	令和4年9月21日(水)～ 令和4年11月16日(水) 【当日消印有効】	令和4年9月21日(水)～ 令和4年11月16日(水) 【当日消印有効】	令和4年12月23日(金)～ 令和5年1月30日(月) 【当日消印有効】
試験期日	令和4年9月3日(土)	令和4年12月3日(土)	令和4年12月3日(土)	令和5年2月4日(土)
合格発表	令和4年10月12日(水) 正午	令和5年1月11日(水) 正午	令和5年1月11日(水) 正午	令和5年2月24日(金) 正午

※出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。
入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(<https://www.kmu.ac.jp/juk/gsreb.html>)をご覧ください。出願書類もホームページからダウンロードできます。

令和5年度大学院看護学研究科学生募集要項（博士前期・博士後期課程）

看

令和5年度学生募集を下記のとおり行います。

- 募集人員 看護学専攻博士前期課程20名・看護学専攻博士後期課程5名（夏期冬期合計）

■試験概要

	看護学専攻博士前期課程		看護学専攻博士後期課程	
	夏期	冬期	夏期	冬期
願書受付期間	令和4年7月29日(金)～ 令和4年8月12日(金) 【必着】	令和4年11月11日(金)～ 令和4年11月25日(金) 【必着】	令和4年7月29日(金)～ 令和4年8月12日(金) 【必着】	令和4年11月11日(金)～ 令和4年11月25日(金) 【必着】
試験期日	令和4年8月28日(日)	令和4年12月11日(日)	令和4年8月28日(日)	令和4年12月11日(日)
合格発表	令和4年9月2日(金) 正午	令和4年12月16日(金) 正午	令和4年9月2日(金) 正午	令和4年12月16日(金) 正午

※出願するコース及び出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。
入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(https://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/)をご覧ください。

第92回解剖体追悼法要、遺骨返還式

5月15日(日)10時から臨濟宗建仁寺派大本山建仁寺(京都市東山区)において第92回解剖体追悼法要が営まれました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染拡大防止の観点から学内関係者のみで執り行われ、関西医科大学白菊会役員、友田幸一学長をはじめとする教職員、本学医学部学生代表が参列。施主代表の友田学長が追悼の言葉を述べた後、僧侶による読経が捧げられ、参列者による焼香が行われました。その後、11時からは遺骨返還式を挙げる。医学の発展に寄与するため篤志によりご献体くださった故人のご遺族の方々へ友田学長より遺骨の返還が行われました。



遺骨返還式にて追悼の言葉を述べる友田学長

3学部合同授業実施



5月31日(火)14時から、枚方市総合文化芸術センター関西医大大ホールにおいて、医学部、看護学部、リハビリテーション学部の1学年学生を対象とした3学部合同授業が行われました。これは3つの学部をもつ医療系複合大学である本学ならではの授業で、医学部133名、看護学部105名、リハビリテーション学部102名のあわせて340名の学生が参加しました。

第一部では、山中伸弥客員教授(京都大学iPS細胞研究所名誉所長)による講義が行われ、山中教授が医学研究を志したきっかけやiPS細胞研究の現状、今後の展望に関する解説に、学生たちは熱心に耳を傾けました。

第二部では、山下敏夫理事長による講演が行われ、本学の草創期からの歴史や現状、将来の展望について語られました。

なおこの授業は、本学で医療人をめざす学習者として3学部の全学生が受講する科目の一環です。この科目は他学部生との交流やディスカッション、演習を行うことにより、互いの職業の専門性、役割・責務を理解したうえで尊重した関わりができるための土台づくりを目的としています。



講演する山中客員教授

リトアニア共和国ヴィリニウス大学とのオンライン会議



6月27日(月)14時から関医タワー3階会議室において、本学とリトアニア共和国のヴィリニウス大学、在リトアニア日本国大使館特命全権大使の尾崎哲氏を交えたZoomでのオンライン国際会議が実施され、両大学の紹介や、本学とヴィリニウス大学とで実施している合同講義、交換留学制度、国際大学院プログラム等について紹介されました。

会議には、友田幸一学長、大学院医学研究科教務部人見浩史部長、外科学講座里井壯平診療教授、同橋本大輔診療講師が出席。外科学講座が実施してきた合同の学生講義について橋本診療講師が報告しました。その後、ヴィリニウス大学医学部Algirdas Utkus学部長らとの質疑応答があり、会議は終了しました。在リトアニア日本国大使館を交えた本会議は、今後の両大学間の交流を深める貴重な機会となりました。



オンライン会議の様子

「高齢者こころとからだの健康チェック2022」開催



5月14日(土)・15日(日)の2日間、リハビリテーション学部では、医学部衛生・公衆衛生学講座甲田勝康研究教授および附属病院健康科学センター木村穰センター長の協力のもと、地域住民を対象とした『高齢者こころとからだの健康チェック2022』を実施しました。2日間で計75名の方が参加。評価項目は標準的な身体機能から創造性まで多岐にわたり、参加された地域の方からは「今までに経験したことのない健康イベントでした」との感想をいただきました。測定にはリハビリテーション学部の在学学生も参加。学生たちは研究を通じた生きた学習の場で、講義で得ることのできない多くのことを学んだ様子でした。

今年初めて実施した地域貢献を目指したイベントで、当初は色々不安もあったものの素晴らしい先生方と学生、何より地域住民の方々のお力添えによって、無事にイベントを終えることができました。来年度は少し規模を拡大し、地域の方々に喜んでもらえるような、より充実したイベントにしていく予定です。



参加者を身体機能計測ブースに案内するリハビリテーション学部生の様子

研究医養成コース所属学生の成果

研究医養成コースとは、臨床応用に欠かせない基礎医学研究に進む研究医養成のために設置されたコースです。

1学年で医学研究を希望する学生(育成学生)を募り、「研究医養成コース」の準備のためのカリキュラム(研究マインド育成プログラム)を提供します。解剖学・生理学が終了する2学年終了時に「研究医養成コース」を募集し、準備カリキュラムを受講した学生の中から選抜します。本コースの学生は、医学研究に従事し、連携校とのコンソーシアム合宿に参加します。卒業時に医師免許を取得し、初期臨床研修を受けると、一定期間基礎医学研究に従事した後は、研究医だけでなく臨床医になることができます。

今回、本コース所属学生の成果を以下の通り掲載いたします。

6学年 中島 啓子さん

- 論文タイトル『Sulfatide with ceramide composed of phytosphingosine (t18:0) and 2-hydroxy FAs in renal intercalated cells (腎臓介在細胞におけるフィトスフィンゴシン(t18:0)と2-ヒドロキシFAで構成されるセラミドを含むスルファチド)』
- 掲載紙『Journal of Lipid Research』



指導教員 平原 幸恵 教授(現看護学部基礎看護学領域教授/前医学部解剖学講座講師)

中島さんは、組織学を軸とした基礎研究を追求するため、解剖学講座の門を叩かれました。常に様々な研究手法を身に付けようとする向上心は目を見張るものがあり、質量顕微鏡や電子顕微鏡を駆使し、長時間にわたり粘り強く腎臓の脂質解析をこなす姿には深い感銘を受けました。当研究室で培った研究マインドを活かし、臨床現場の気付きを基礎研究へ導き科学技術研究に貢献する医師となられることを心から祈念します。



6学年 中島 啓子さんのコメント

今回、論文の掲載に際して、素直に嬉しく思います。研究を進めている間には、時に長時間の解析に苦戦し、時に研究と勉強、部活動の両立に悩みました。しかし、未来の医学の展開に貢献したい思いで研究を進め、研究成果が出たときの達成感は大きかったのを覚えています。掲載まで至れたのは、私ひとりの力ではなく、指導担当の平原先生をはじめ、多くの先生方のご指導のおかげとっております。心から感謝申し上げます。今後医師となっても、この経験を活かせるように邁進していきたいと思っております。

5学年 田畑 凱光さん

- 論文タイトル『Rapid detection of single nucleotide polymorphisms using the MinION nanopore sequencer: a feasibility study for perioperative precision medicine (MinION ナノポアシーケンサーを使用した一塩基多型の迅速な検出：周術期精密医療の実現可能性研究)』
- 掲載紙『JA Clinical Reports』



指導医 廣田 喜一 教授(附属生命医学研究所 侵襲反応制御部門教授)

田畑さん論文出版おめでとう!!

研究室での議論という名の雑談を経てこの研究が始まったのですが、私たちのツツコミに負けず田畑さんは終始この研究を主導して前進してくれました。遺伝子の研究はDNA配列の取得よりもその後の解析が重要なのですが独力で解析法も考えてくれました。

この経験を活かし立派な医師になってください。



5学年 田畑 凱光さんのコメント

「じゃあこれでいきましょう。」先生との雑談の最中に僕が主導する初めての研究テーマが決まりました。わからないことが多い中、実験、データ解析、検討の一連を自力でこなす難しさを痛感しました。その度に廣田先生をはじめ、講師の松尾先生にも多くのアドバイスやご指導を頂きました。特に遺伝子解析方法の独力で開発は難航しましたがプロトコルの変更を繰り返してなんとか形になったのがとても嬉しかったのを鮮明に覚えています。最終的には筆頭著者として研究結果を論文にまとめられた経験は何物にも代え難いものとなりました。廣田先生、松尾先生をはじめ、ご助力いただいたすべての先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。

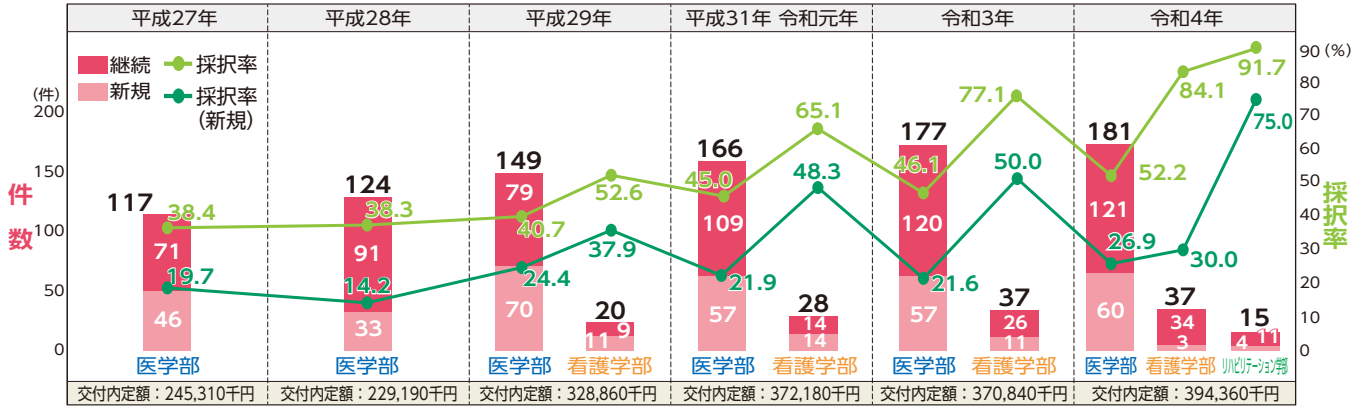
※肩書きは取材当時のものです。

令和4年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

※掲載情報は申請当時

文部科学省・日本学術振興会関係

平成27～令和4年度科学研究費採択推移



令和4年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
学術変革領域研究 (A)	1	2,900,000	870,000	3,770,000
学術変革領域研究 (B)	1	10,500,000	3,150,000	13,650,000
新学術領域研究	2	5,000,000	1,500,000	6,500,000
基盤研究 (B)	24	85,500,000	25,650,000	111,150,000
奨励研究	1	460,000	0	460,000
合計	29	104,360,000	31,170,000	135,530,000

(単位: 円)

令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
基盤研究 (C)	146	142,100,000	42,630,000	184,730,000
若手研究	48	45,300,000	13,590,000	58,890,000
挑戦的研究 (萌芽)	5	8,500,000	2,550,000	11,050,000
挑戦的研究 (開拓)	1	6,000,000	1,800,000	7,800,000
研究活動スタート支援	4	3,900,000	1,170,000	5,070,000
合計	204	205,800,000	61,740,000	267,540,000

(単位: 円)

令和4年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覽(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
学術変革領域研究(B) 継続	医化学講座	寿野 良二	講師	過渡的タンパク質複合体の高速構造解析プラットフォームの構築	10,500,000	3,150,000
学術変革領域研究(A) (公募型) 継続	生理学講座	安田 正治	講師	内受容感覚依存的な情動を伴う質感の神経メカニズムの解明	2,900,000	870,000
新学術領域研究 (研究領域提案型) 継続	生理学講座	中村 加枝	教授	ストレス下における意思決定破綻メカニズムの時間空間的多層解析	3,000,000	900,000
	生理学講座	倉岡 康治	助教	社会的情報の影響を受ける時間処理における扁桃体と線条体の機能的結合形成	2,000,000	600,000
基盤研究(B) 新規	医化学講座	片野 泰代	准教授	中枢神経系の可塑的变化を病態基盤とする慢性疼痛とうつ病の新規分子機序の解明	2,600,000	780,000
	薬理学講座	中邨 智之	教授	弾性線維の形成と再生の分子機構の解明	5,000,000	1,500,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	大脳皮質基底核変性症の疾患モデル構築と病態解明	5,000,000	1,500,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B) 新規	内科学第二講座	塩島 一朗	教授	Wnt5a-Yap axisによる心筋細胞メカノトランスダクション制御機構の解明	5,400,000	1,620,000
	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	インテグリンによる細胞相互作用の可塑性と堅牢性の生成メカニズムと生体機能の解明	5,000,000	1,500,000
	基礎看護学領域	山下 裕紀	准教授	脳卒中失語症者の社会性回復を目指したcommunionの実装	2,700,000	810,000
	理学療法学科	前澤 仁志	准教授	BMI、脳刺激法、AIを融合したテラーメイド型嚥下機能再建法とその神経基盤解明	6,700,000	2,010,000
基盤研究(B) 継続	看護学教育領域	安酸 史子	教授	特別な支援を要する看護学生への教育力育成プログラムの開発	3,100,000	930,000
	基礎看護学領域	片田 範子	教授	こどもの生活と発達の「見えづらさ」に着目した状況特定理論の構築	4,400,000	1,320,000
	こども看護学領域	加藤 令子	教授	障がい等のあるこどもが自然災害に備えるセルフケア獲得・定着を可能とするツールの開発	900,000	270,000
	地域看護学領域	上野 昌江	教授	子どもの虐待予防における「生きづらさ」を抱えた人への妊娠期からの支援手法の変革	2,700,000	810,000
	地域看護学領域	大川 聡子	准教授	10代母親の逆境的小児期体験(ACE)を踏まえた妊娠期からの訪問プログラム開発	1,100,000	330,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	多能性幹細胞の自己組織化能の促進とアセンブルによる小脳オルガノイドモデルの創出	5,200,000	1,560,000
	医化学講座	寿野 良二	講師	バイアスリガンド開発に資するG蛋白質/アレクチン-GPCR複合体の構造解析	2,400,000	720,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教授	体脂肪分布が臓器機能障害におよぼす影響についての大規模疫学研究	3,000,000	900,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	教授	超精密個別化ゲノム解析法の開発による遺伝性疾患の病因病態解明	3,200,000	960,000
	附属光免疫医学研究所基盤開発部門	花岡 宏史	教授	At-211標識アミノ酸を用いた治療効果の高い α 線治療法の創出	3,300,000	990,000
	神経機能部門	小早川 高	准教授	先天的恐怖臭による致死的な低酸素環境での生存能力の誘導原理	4,500,000	1,350,000
	神経機能部門	小早川 令子	教授	先天的恐怖情動が持つ生命保護作用の解明	4,500,000	1,350,000
	侵襲反応制御部門	広田 喜一	教授	酸素ホメオスタシス制御を切り口とした麻酔に伴う免疫応答変容の分子基盤解明	2,700,000	810,000
	生理学講座	中村 加枝	教授	負の情動下の意思決定行動変容の神経基盤：拡張扁桃体-大脳基底核回路の探求	2,600,000	780,000
	内科学第三講座	山敷 宣代	講師	禁酒継続に向け医療者-患者双方向を支援するデジタルヘルス環境の構築	2,900,000	870,000
	脳神経外科学講座	浅井 昭雄	教授	脳腫瘍の再発予知と予防薬の開発	4,500,000	1,350,000
リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教授	片麻痺歩行再建の治療指針を提供するAIシステムの基盤形成	2,100,000	630,000	
奨励研究	附属病院リハビリテーション科	田中 宏明	理学療法士	G.A.I.Tを用いた脳卒中患者に対する歩行評価の有用性の検証	460,000	0

(単位：円)

令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	解剖学講座	北田 容章	教授	成体型再生を可能とする成体イモリの脊髄再生における神経細胞新生の意義の検証	1,900,000	570,000
	解剖学講座	関 亮平	助教	イモリ脊髄損傷後の組織再構築における免疫環境の重要性	900,000	270,000
	生理学講座	倉岡 康治	助教	不信任に抗って他者を信頼する脳内機構	900,000	270,000
	医化学講座	前野 寛大	助教	セレウス菌芽胞の圧力ストレス応答における不活性化誘起因子の分子論的・形態学的解析	2,000,000	600,000
	医化学講座	西田 和彦	助教	内臓痛特有の痛みをもたらす脊髄神経回路の同定とそのin vivo機能解析	1,600,000	480,000
	薬理学講座	三木 貴雄	講師	がん概日リズムの関連より同定したRBによる新規標的制御機構の解明	1,300,000	390,000
	病理学講座	石田 光明	講師	グルタミン・セリン代謝に着目した乳癌予後マーカー アディポフィン発現機序の解明	1,200,000	360,000
	病理学講座	松浦 徹	講師	哺乳類胚の着床を可能とする細胞間相互作用の解明	1,600,000	480,000
	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HTLV-1関連脊髄症の新規治療薬スクリーニングに向けた感染モデルの構築と応用	1,100,000	330,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	木村 俊哉	助教	患者iPS細胞を用いたオブティニューリン変異による神経変性機構の解明	1,100,000	330,000
	衛生・公衆衛生学講座	三宅 真理	講師	AIを用いた高齢者の健康診断と個別支援プログラムの開発	1,200,000	360,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	内科学第二講座	高木 雅彦	教授	単極記録型ホルター加算平均心電図のJ波症候群における有用性の検討	1,600,000	480,000
	内科学第二講座	竹花 一哉	准教授	日本循環器学会データ出力標準フォーマットを用いた心臓核医学検査情報の管理	1,100,000	330,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教授	活性化血小板をターゲットとした炎症性腸疾患バイオマーカー同定と新規治療法の開発	1,300,000	390,000
	内科学第三講座	福井 寿朗	准教授	pSmad2/3L-Thr発現に着目した消化管癌の発癌・進展機構解析と臨床応用	1,000,000	300,000
	内科学第三講座	田原 智満	講師	日本人のパレット食道患者の癌化リスクに係わる分子異常と要因	1,500,000	450,000
	精神神経科学講座	加藤 正樹	准教授	オミックスと長期評価による適切なゴールを目指す気分障害の革新的治療の基盤構築	800,000	240,000
	精神神経科学講座	許 全利	助教	無床精神科における成人発症II型シトルリン血症の実態調査研究	700,000	210,000
	精神神経科学講座	齊藤 幸子	講師	精神分析的精神療法は自閉スペクトラム症患者のミラーニューロンシステムを補強するか	1,300,000	390,000
	小児科学講座	辻 章志	准教授	腸内細菌叢の乱れに着目した小児微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明と治療法の開発	1,000,000	300,000
	外科学講座	海堀 昌樹	教授	抗癌剤内包型フタロシアニン修飾リボソームを用いた胆嚢癌に対する新規治療法開発	1,000,000	300,000
	脳神経外科学講座	磯崎 春菜	助教	転写因子を標的とした脊髄腫瘍の予防法の開発	2,500,000	750,000
	脳神経外科学講座	李 一	助教	がん幹細胞を標的とした標準免疫療法の開発	1,000,000	300,000
	脳神経外科学講座	内藤 信晶	助教	がん幹細胞の遊走を制御するイオンチャネルの分子基盤	2,000,000	600,000
	脳神経外科学講座	武田 純一	講師	二分脊椎症と診断された患者およびその家族を対象とした原因遺伝子の探索	2,400,000	720,000
	腎泌尿器外科学講座	元木 佑典	助教	副腎皮質オルガノイドを用いた自家移植法の開発	1,100,000	330,000
	眼科学講座	佐々木香る	准教授	抗VEGF薬治療時の抗菌薬点眼反復投与による結膜嚢常在細菌叢のdysbiosis	1,300,000	390,000
	眼科学講座	高橋 寛二	教授	網膜静脈症モデル動物における高血圧の影響について	1,000,000	300,000
	形成外科学講座	覚道奈津子	教授	ヒト脂肪幹細胞の陰圧負荷培養を応用した創傷治癒・血管新生効果の解明と応用	1,000,000	300,000
	形成外科学講座	畔 熱行	講師	組織の水点下非凍結による保存	1,200,000	360,000
	放射線科学講座	中谷 幸	講師	CT透視ガイド下穿刺を姿勢制御技術を搭載したデバイスで補助する研究	600,000	180,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	朝子 幹也	准教授	花粉食物アレルギー症候群における歯科用金属のアジュバント効果の検討	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	小林 良樹	講師	好酸球性エクソソーム由来miRNAから難治性好酸球性気道炎症の病態を探索	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	兒島 由佳	准教授	抜歯後MRONJ発症機序の解明および予防策の確立	1,100,000	330,000
	放射線科学講座	丸山 拓士	助教	リンパ還流障害の中核に画像ガイド下でリンパ管・静脈バイパスを作成する動物実験	1,100,000	330,000
	放射線科学講座	小野 泰之	助教	PMEAコーティングの生体内長期抗菌効果の証明	500,000	150,000
	麻酔科学講座	竹下 淳	研究医員	重症敗血症病態の白血球減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子、蛋白質の同定	1,600,000	480,000
	麻酔科学講座	影山 京子	研究医員	播種性血管内凝固症候群の血小板減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子の同定	1,600,000	480,000
	麻酔科学講座	岩崎 光生	講師	脳死ドナーの臓器保護戦略 医療ガスを用いての検討	1,300,000	390,000
	救急医学講座	池側 均	准教授	ショック時に発生する腸管循環異常の病態解明とその制御方法に関わる研究	900,000	270,000
	侵襲応制御部門	松尾 慎之	講師	ナノボアシークエンサーによる血中マイクロバイオーム解析に基づく敗血症診断技術開発	1,300,000	390,000
	心理学教室	西垣 悦代	教授	大学生のためのICTを活用した総合的セルフケアプログラムの開発と実践	1,200,000	360,000
	精神看護学領域	手嶋 大喜	助教	訪問看護事業所間協同による暴力・ハラスメントのリスクマネジメント体制の構築	1,800,000	540,000
理学療法学科	佐藤 春彦	教授	脳性麻痺児への安全確実な睡眠姿勢ケアの実践を支援する遠隔相談と変形予防効果の検証	600,000	180,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	作業療法学科	三木 恵美	准教授	外来治療中の乳がん患者に対する就労支援リハビリテーションプログラムの開発	1,000,000	300,000
	作業療法学科	松島 佳苗	准教授	協調運動障害における予測的運動制御の発達の評価指標の開発	1,300,000	390,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	神田 晃	准教授	好酸球性嗅覚障害の機序解明とEDNをターゲットにした新しい治療戦略の構築	1,200,000	360,000
基盤研究(C) 継続	看護学教育領域	太田 祐子	准教授	対話的リフレクションを契機としたキャリア中期看護職の成長に関する研究	1,000,000	300,000
	基礎看護学領域	藤本 悦子	教授	看護教育における解剖生理学の再構築とその教育指針の作成	500,000	150,000
	こども看護学領域	原 朱美	講師	多職種で取り組むこどものセルフケアに着目した在宅支援モデルの構築	700,000	210,000
	在宅看護学領域	李 錦純	准教授	多文化共生社会の高齢化に対応した在宅ケアグローバル人材養成教育プログラムの開発	700,000	210,000
	在宅看護学領域	武 ユカリ	講師	訪問看護における暴力防止のためのe-learningによる教育プログラム開発	500,000	150,000
	在宅看護学領域	山本 大祐	助教	中山間地域で継ぎ目の無い看取り支援を可能にする訪問看護師育成モデルの開発	1,200,000	360,000
	在宅看護学領域	高橋美沙子	助教	認知症高齢者の住まい変更の移行期を支えるプログラム開発のための基礎的研究	800,000	240,000
	作業療法学科	吉村 匡史	教授	レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症に対する経頭蓋直流電気刺激(tDCS)	400,000	120,000
	精神看護学領域	矢山 壮	講師	看護師のメンタルヘルスケアのためのWRAP有用性の検証	200,000	60,000
	精神看護学領域	的場 圭	助教	精神科病院の看護職員による入院患者への不適切ケア・虐待を防止するための指針の構築	1,000,000	300,000
	地域看護学領域	海原 律子	助教	社会的孤立の状態にある高齢者の理解と孤立した生き方を尊重した支援の検討	900,000	270,000
	地域看護学領域	中原 洋子	助教	妊娠中から支援を必要とする母親のアセスメント指標の活用性の検討	600,000	180,000
	母性(助産)看護学領域	川崎 有紀	助教	妊娠糖尿病と診断された女性の産後糖尿病発症予防に向けてのプログラム構築	500,000	150,000
	母性(助産)看護学領域	岩國亜紀子	講師	妊婦が非対称性骨盤の改善とつわりの軽減を目指すセルフケアへの支援：RCT効果検証	900,000	270,000
	母性(助産)看護学領域	安藤布紀子	准教授	特別支援学校に通う知的障がいの子どもと家族および教員への包括的教育に関する研究	500,000	150,000
	母性(助産)看護学領域	酒井ひろ子	教授	認知行動療法を基礎とした妊婦禁煙アプリの開発と長期的禁煙継続の評価	2,300,000	690,000
	慢性疾患看護学領域	村内 千代	助教	50歳未満成人2型糖尿病患者の治療中断リスク評価ツールの開発	800,000	240,000
	慢性疾患看護学領域	大原 千園	講師	パーキンソン病患者の身体性を意識した看護援助指針の開発と検証	900,000	270,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教授	高齢慢性疾患患者を対象とした外来看護包括的アセスメントツールの開発	1,000,000	300,000
	慢性疾患看護学領域	青木 早苗	准教授	遺伝リスクがある乳がん女性のセルフ・トランセンデンスを促進する外来看護指針の開発	700,000	210,000
	慢性疾患看護学領域	橋本理恵子	講師	治療を受ける若年成人がん患者の心理的適応を促進する看護ケアプログラムの開発	400,000	120,000
	理学療法学科	福元 喜啓	准教授	骨格筋超音波画像の周波数解析による新しい筋内脂肪指標の開発	1,100,000	330,000
	理学療法学科	中野 治郎	教授	腫瘍の形成抑制を狙った酸素濃度調節環境下での運動療法の開発	1,000,000	300,000
	理学療法学科	脇田 正徳	助教	2レーン式トレッドミルを用いた転倒予防練習の運動解析と治療アルゴリズムの開発	100,000	30,000
	理学療法学科	浅井 剛	准教授	高齢者を対象とした、シナジー理論に基づく新しい歩行リハビリテーション法の開発	600,000	180,000
	理学療法学科	池添 冬芽	教授	骨格筋変性の加齢変化の解明および筋変性予防に効果的なトレーニング法の開発	700,000	210,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助教	ヒト造血幹細胞におけるCD34抗原の発現意義の解明	500,000	150,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	人見 浩史	教授	iPS細胞由来内分泌細胞を用いた新規治療法開発	1,000,000	300,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	藤岡 龍哉	准教授	急性骨髄性白血病に対するCAR-T療法の開発	900,000	270,000

研究種目等	研究代表者		研究課題	交付内定額		
				直接経費	間接経費	
基盤研究(C) 継続	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	講師	ヒトiPS細胞由来肝幹細胞様細胞を用いた代謝異常性肝疾患の治療	1,400,000	420,000
	衛生・公衆衛生学講座	保坂 直樹	研究員	再生胸腺微小環境によるT細胞の誘導 — γ δ T細胞の産生と悪性腫瘍への応用—	800,000	240,000
	解剖学講座	林 真一	講師	脊髄再生における二胚葉性幹細胞の出現と役割の解析	1,100,000	330,000
	解剖学講座	大江 総一	助教	脳由来胆汁酸の機能解明と脳梗塞新規治療デザイン確立への応用	1,100,000	330,000
	救急医学講座	室谷 卓	講師	敗血症における赤血球表面上の補体沈着と侵襲度の評価	500,000	150,000
	救急医学講座	鎌方 安行	教授	腸管循環系からみた敗血症ショックの新しい循環管理法の開発に関する研究	900,000	270,000
	形成外科学講座	松岡 祐貴	助教	血管リモデリングマウスを用いた血管スバズムモデルの開発と新規スバズム抑制薬の検討	400,000	120,000
	外科学講座	山崎 誠	准教授	高齢食道癌患者に対する術前化学療法施行中の運動・栄養介入の有用性試験	900,000	270,000
	外科学講座	里井 壯平	教授	機能的食品(AHCC)による膀胱癌治療成績改善を検証する 二重盲検無作為化比較試験	300,000	90,000
	外科学講座	奥山 哲矢	博士研究員	肝虚血再灌流障害に対するセンスオリゴヌクレオチドを用いた新規核酸医薬の開発研究	900,000	270,000
	外科学講座	松井 康輔	講師	肝細胞癌に対するレンパチニブ内包スマートメッシュを用いた新規治療デバイスの開発	1,300,000	390,000
	外科学講座	山木 壮	助教	膀胱癌細胞におけるadipophilinの発現とグルタミン代謝メカニズムの解明	1,600,000	480,000
	外科学講座	中竹 利知	助教	iNOSセンスオリゴヌクレオチドを中心とした敗血症治療に対する基盤構築	900,000	270,000
	外科学講座	小坂 久	講師	癒着制御剤を内包したスマートシートによる術後癒着予防効果の検討	800,000	240,000
	ゲノム編集部門	徳弘 圭造	准教授	亜鉛シグナルによる精子受精能制御機構の解明	1,100,000	330,000
	呼吸器外科学講座	谷口 洋平	講師	胸腺癌特異マーカーPRAMEの生物学的意義の解明と新規治療戦略への展開	600,000	180,000
	呼吸器外科学講座	齊藤 朋人	講師	肺癌 invasive frontの空間的病理解析による浸潤/免疫抑制機構の解明	800,000	240,000
	細胞機能部門	武藤 恵	講師	代謝型グルタミン酸受容体サブタイプ1の幼弱海馬特異的新機能の解明	800,000	240,000
	細胞機能部門	林 美樹夫	講師	ムコリピンを標的としたがん根治・予防を可能とする治療薬の創出	600,000	180,000
	産科学・婦人科学講座	森川 守	教授	HELLP症候群における補体活性化と血管新生関連因子についての研究	700,000	210,000
	産科学・婦人科学講座	岡田 英孝	教授	内分泌・低酸素環境における子宮内膜分化機構の解明	900,000	270,000
	産科学・婦人科学講座	村田 紘未	講師	子宮内膜免疫寛容の転写制御機構を解明する	1,300,000	390,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	日高 浩史	准教授	降下性縦隔炎の治療法構築と地域包括医療計画への提言：医療ビッグデータを用いた解析	900,000	270,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	濱田 聡子	講師	スギ花粉症舌下免疫療法に対するCX3CR1を指標としたバイオマーカーの開発	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	杉田 侑己	助教	胸腺移植を用いた細胞性免疫機能改変による老人性難聴予防とヒトへの応用	1,200,000	360,000
	小児科学講座	石崎 優子	准教授	起立性調節障害児のデコンディショニングに対するトレーニングプログラムの開発	500,000	150,000
	小児科学講座	木全 貴久	講師	乳幼児の反復性尿路感染症における腸内細菌層は正による新規予防法の確立	1,200,000	360,000
	小児科学講座	高屋 淳二	非常勤講師	コロナ禍による小児の貧困・体格・生活スタイルの変容	900,000	270,000
	神経機能部門	林 勇一郎	博士研究員	固定化した記憶を保持する前頭前皮質の神経活動ダイナミクス	700,000	210,000
	神経内科学講座	薬師寺祐介	教授	アルツハイマー病発症リスクを層別化する中年期脳微細血管障害スコアモデルの構築	1,100,000	330,000
	侵襲反応制御部門	西 憲一郎	研究員	HIF-1活性解析を基軸としたタバコ誘導性肺バリア機能低下機構の分子生物学的探究	700,000	210,000
	泌尿器外科学講座	吉田 崇	助教	浸潤性膀胱癌における新規治療ターゲットとしての一次繊毛	1,000,000	300,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	腎泌尿器外科学講座	木下 秀文	教授	Augmented Realityを利用した、追体験型手術教育法の開発と評価	1,000,000	300,000
	腎泌尿器外科学講座	齊藤 亮一	講師	免疫微小環境モデリングに着目した尿路上皮癌新規複合免疫療法の開発	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学講座	谷口 久哲	講師	ミトコンドリア代謝を指標とした、新規ヒト精子品質評価技術の確立と品質維持への試み	1,000,000	300,000
	心療内科学講座	福永 幹彦	教授	光環境サイクルという視点からの、新たな心身症治療法の可能性	900,000	270,000
	心療内科学講座	阿部 哲也	准教授	医療面接における共感場面の社会的・生理的特徴からの客観的解明	700,000	210,000
	心療内科学講座	蓮尾 英明	講師	がん患者の不眠障害に対する完全在宅型心拍変動バイオフィードバックシステムの開発	800,000	240,000
	整形外科科学講座	申田 剛俊	非常勤講師	超小型サークエンサーを用いた周術期感染症のオンサイト迅速モニタリング技術の開発	1,000,000	300,000
	整形外科科学講座	足立 崇	講師	次世代サークエンサーによる椎間板・椎体および脊椎インプラントに存在する細菌叢の探究	1,200,000	360,000
	精神神経科学講座	奥川 学	非常勤講師	麻酔-ECT時間がけいれん発作の質および臨床的有効性・忍容性に及ぼす影響について	500,000	150,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	小胞輸送制御因子Arfを介した免疫調節機構の解明	1,000,000	300,000
	生理学講座	上田 康雅	講師	ストレスによる行動変容に対するドーパミンとセロトニンの役割を明らかにする研究	800,000	240,000
	生理学講座	安田 正治	講師	臓器感覚入力系におけるモノアミン神経細胞の情動表現解析	1,100,000	330,000
	内科学第一講座	玉置 岳史	講師	進行期肺癌に対する癌化学療法への医療経済的なアプローチによる解析	100,000	30,000
	内科学第二講座	塚口 裕康	講師	核膜構造・機能からみるヒト遺伝性疾患の解明	700,000	210,000
	内科学第二講座	岩崎 真佳	研究医員	食後代謝異常が造血幹細胞老化を誘導する際のヒストン脱メチル化酵素の役割	1,000,000	300,000
	内科学第二講座	藤井 健一	講師	深層学習による冠動脈粥腫自動診断システムの開発とその臨床応用に関する研究	1,100,000	330,000
	脳神経外科学講座	吉村 晋一	准教授	内向き整流Kチャネルを基軸としたグリオーマ浸潤メカニズムの解明	600,000	180,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	教授	プレシジョン・メディシンに向けた悪性脳腫瘍の治療パッケージの創製	700,000	210,000
	脳神経外科学講座	岩田 亮一	非常勤講師	遠隔転移の予防に向けた新規免疫調節因子の発現メカニズムの解明	500,000	150,000
	微生物学講座	大隈 和	教授	HTLV-1ハイリスクキャリアの発症予防・治療薬創製とサル感染モデルを用いた評価	1,600,000	480,000
	病態分子イメージングセンター(医化学講座)	松村 伸治	准教授	μ および δ オピオイド受容体二量体のがん疼痛維持機構における役割の解明	800,000	240,000
	物理学教室	栗川 知己	助教	神経発火パターンがつくる軌道構造による領野間通信機序の解明	600,000	180,000
	物理学教室	楠本 邦子 (竹本 邦子)	准教授	シジミの貝殻色の決定因子の解明：べっこうシジミはなぜ生じるのか	800,000	240,000
	分子遺伝学部門	近藤 直幸	講師	病原性小胞の抑制を目指したインテグリン含有小胞の制御機序の解明	700,000	210,000
	分子遺伝学部門	植田 祥啓	講師	動態制御シグナルRap1によるNKT細胞の産生の時空間的制御	1,000,000	300,000
	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助教	Talin1によるインテグリン活性化を介した神経膠(芽)腫悪性化メカニズムの解明	1,100,000	330,000
	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講師	細胞接着制御因子Rap1による新たな好中球細胞死制御メカニズムの解明	1,200,000	360,000
	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	DNAメチル化を中心とした心臓突然死診断への多角的アプローチ	1,000,000	300,000
	放射線科学講座	狩谷 秀治	准教授	蛋白付着抑制コートはバイオフィルム形成を阻止しカテーテルへの細菌付着を妨げるか？	700,000	210,000
	麻酔科学講座	中嶋 康文	教授	敗血症病態時の好中球細胞外トラップ産生能とmicroRNAによる制御の解明	500,000	150,000
	麻酔科学講座	萩平 哲	教授	麻酔中の脳波による鎮痛モニタリング法の開発	600,000	180,000
	麻酔科学講座	上林 卓彦	教授	脳死ラットにおける新規心不全治療薬による心筋保護効果の検討	800,000	240,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	麻酔科学講座	中畑 克俊	講 師	妊娠高血圧と中枢神経性調節：機能的磁気共鳴イメージングを用いた脳機能的結合性解析	400,000	120,000
	麻酔科学講座	金沢 路子	助 教	病態解明と創薬を目標とした妊娠高血圧症候群患者の血小板中microRNA解析	900,000	270,000
	麻酔科学講座	伊藤明日香	講 師	COVID-19における急激な病態悪化メカニズムの解明および予防ターゲットの提示	1,100,000	330,000
	モデル動物部門	村山 正承	講 師	変形性関節症におけるCTRPファミリーの分子機序解明及び治療薬・治療法開発	900,000	270,000
	薬理学講座	平井 希俊	講 師	心筋再生医療にむけたErbB受容体シグナル経路の解明	700,000	210,000
	作業療法学科	福井 信佳	教 授	障がい者を開示して就業した高学歴発達障がい者の職場定着に関する研究	500,000	150,000
若手研究 新規	解剖学講座	中野 洋輔	助 教	学生自身の手による医用画像利用と3Dプリンタ出力の解剖学教育効果の検証	700,000	210,000
	生理学講座	石井 宏憲	助 教	制限時間依存的な採餌戦略スイッチングの行動・神経基盤を解明する	1,600,000	480,000
	病理学講座	野田 百合	助 教	口腔腫瘍性病変表層に特異的に発現する新規分化関連タンパク質の発現と作用機序の解析	700,000	210,000
	内科学第三講座	中丸 洸	助 教	1型自己免疫性膵炎における細胞外小胞由来miR-21-5pの病態への関与	500,000	150,000
	内科学第三講座	伊藤 高志	助 教	膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する制御性T細胞を中心とした新規バイオマーカーの探索	600,000	180,000
	精神神経科学講座	越川 陽介	研究員	フォーカシングの精神科領域臨床応用のための無作為化比較試験：うつ病とQOL	800,000	240,000
	精神神経科学講座	青木 宣篤	助 教	ECTにおけるけいれん発作の成否を包括的に定量化するレジストリ研究とその検証	1,700,000	510,000
	腎泌尿器外科学講座	安田 鐘樹	助 教	前立腺癌担癌マウスへのMST1 inhibitor投与による腫瘍抑制効果の検討	2,100,000	630,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	鈴木 健介	助 教	I-131抵抗性の克服による甲状腺癌に対する新規分子標的薬併用放射線療法の開発	1,100,000	330,000
	麻酔科学講座	楠 宗矩	助 教	静脈麻酔薬デクスメトミジンによるインスリン分泌抑制機序の解明	2,400,000	720,000
	健康科学教室	黒瀬 聖司	講 師	減量中のマイオカイン動態による骨格筋機能の制御と身体活動の目標設定	1,700,000	510,000
	母性(助産)看護学領域	藤本 綾子	助 教	睡眠の自己調整法を活用した育児期の睡眠支援プログラムの開発	400,000	120,000
若手研究 継続	看護学教育領域	上山千恵子	助 教	精神科入院患者自殺発症後の看護師への支援と院内教育モデル構築のための基礎的研究	400,000	120,000
	クリティカル看護学領域	小林 寛子	助 教	在宅療養移行を実現する悪性脳腫瘍患者の外泊看護支援プログラムの作成	400,000	120,000
	クリティカルケア看護学領域	谷水 名美	講 師	肝移植レシビエントのWell-Beingを目指す継続的看護実践モデル開発	700,000	210,000
	国際看護学領域	山本 容子	助 教	サブサハラ・アフリカ地域の児童を対象としたライフスキル尺度の開発	1,000,000	300,000
	こども看護学領域	西川 菜央	助 教	PICUに入室しているこどものセルフケア能力の変化に着目した看護支援モデルの開発	1,500,000	450,000
	精神看護学領域	川崎絵里香	助 教	精神疾患患者へのICTを用いたセルフマネジメント支援：支援方法と有効性の検討	500,000	150,000
	地域看護学領域	森田 理江	助 教	コロナ禍におけるテレワーク労働者に対する新たな健康管理の手法に関する検討	100,000	30,000
	慢性疾患看護学領域	藤本 悠	助 教	離島へき地における保健師確保に関する現状と課題	600,000	180,000
	理学療法学科	森 公彦	助 教	半側空間無視患者における主観的垂直感覚の視空間認知過程の解明	1,200,000	360,000
	老年看護学領域	金原 京子	講 師	有料老人ホームでの看取りに向けた事前意思確認のあり方と看護の役割に関する研究	400,000	120,000
	解剖学講座	小池 太郎	助 教	新規一次感覚ニューロンの生理的・病理的役割の解明	700,000	210,000
	眼科学講座	大庭 慎平	助 教	網膜静脈閉塞症における側副血行路形成予測方法の開発	800,000	240,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	酒井 遥	助 教	甲状腺癌に対する分子標的薬併用内/外放射線療法の開発	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	福井 研太	助 教	甲状腺癌に対するAt-211を用いた標的R1治療と分子標的薬の併用療法の確立	1,100,000	330,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 継続	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	清水 皆貴	助 教	好酸球形副鼻腔炎の克服を目指した新規融合タンパク質の鼻腔 組織への有効性	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	阪本 大樹	助 教	活性化2型自然リンパ球に発現するCD69の分子機能的役割の解 明	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	澤田 俊輔	講 師	ヒトiPS細胞を用いた唾液腺組織の再構築と移植による唾液腺 機能回復	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	切東 真子	助 教	薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施 設共同前向き研究	800,000	240,000
	小児科学講座	赤川 翔平	講 師	川崎病の罹患因子としての腸内細菌叢の役割の検討	2,300,000	690,000
	腎泌尿器外科学講座	大杉 治之	研究医員	淡明細胞型腎細胞癌の個別化医療を目的としたバイオマーカー の同定	1,200,000	360,000
	精神神経科学講座	池田俊一郎	講 師	症状評価と客観的指標を用いた摂食障害に対する反復経頭蓋磁 気刺激療法の有効性の検証	700,000	210,000
	生体情報部門	住吉 麻実	助 教	Arf経路を介したT細胞生存維持機構の解明	1,900,000	570,000
	内科学第一講座	吉村 英晃	助 教	レナリドミドの移植片対宿主病に及ぼす影響の解明ー制御性T 細胞を中心としてー	900,000	270,000
	内科学第三講座	福原貴太郎	講 師	ヒト化マウスを用いた炎症性腸疾患モデルの開発と接着分子阻 害による治療法の開発	800,000	240,000
	内科学第三講座	富山 尚	講 師	大腸癌細胞外小胞がもたらす生体内での腫瘍免疫変化の解析	800,000	240,000
	内科学第三講座	山口 隆志	講 師	非アルコール性脂肪性肝炎の線維化進行と肝発癌を予測する新 規バイオマーカーの開発	500,000	150,000
	病理学講座	大江 知里	講 師	高悪性度腎細胞癌の治療薬シーズの探索	300,000	90,000
	内科学第三講座	堀谷 俊介	助 教	Rap1不活化制御による制御性T細胞の動態調節とその破綻による 腸炎病態への影響	1,100,000	330,000
	放射線科学講座	上野 裕	助 教	大量ナノバブル存在下で増強したキャピテーションによる経皮 吸収促進の評価	700,000	210,000
	放射線科学講座	小池 優平	助 教	深層学習による患者個別線量分布推定に基づいた自動放射線治 療計画システムの構築	700,000	210,000
	放射線科学講座	河野由美子	講 師	悪性腫瘍に対する新たな放射線塞栓療法の開発	1,200,000	360,000
	麻酔科学講座	角 千里	研究医員	IFN β -1aシグナルと低酸素応答系のクロストークによる肺血管 内皮バリア機能制御	1,100,000	330,000
	理学療法学科	砂川 耕作	助 教	MCIの視空間認知特性に着目した電子機器操作の介入モデルの 開発	500,000	150,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	坂本 由紀	助 教	閉塞性睡眠時無呼吸に対するOA治療評価のバイオマーカーの 有用性	200,000	60,000
附属光免疫医学研究 所基盤開発部門	鈴木 基史	助 教	PETイメージングによる放射線免疫併用療法の最適化	1,000,000	300,000	
法医学講座	眞鍋 翔	助 教	DNA鑑定実務に資する人工知能によるアーチファクト自動判 定ツールの開発	700,000	210,000	
挑戦的研究 (開拓) 継続	神経機能部門	小早川 高	准教授	人工冬眠誘発臭の動作原理と技術応用	6,000,000	1,800,000
挑戦的研究 (萌芽) 継続	iPS・幹細胞応用医 学講座	玉田 篤史	准教授	ヒトの脳機能解明を目指した人工脳組織の作製・解析技術の開 発	2,000,000	600,000
	医化学講座	小林 拓也	教 授	オピオイドの副作用の要因となるヘテロマー化受容体のシグナ ル伝達機構の解明	1,700,000	510,000
	附属光免疫医学研究 所基盤開発部門	花岡 宏史	教 授	外部からの光照射を必要としない革新的な光免疫療法の開発	1,700,000	510,000
	薬理学講座	中邨 智之	教 授	弾性線維の再生技術の開発	2,500,000	750,000
	リハビリテーション 医学講座	長谷 公隆	教 授	介護保険診療における治療戦略AIの開発	600,000	180,000
研究活動スタート支援 継続	作業療法学科	橋本 晋吾	助 教	認知機能検査としてのMixed Reality課題の基準関連妥当性	1,000,000	300,000
	作業療法学科	山下 円香	助 教	fMRIを用いた高齢者の認知リハビリテーションにおける学習メ カニズムの解明	600,000	180,000
	解剖学講座	関 亮平	助 教	イモリ切断損傷脊髄の完全再生を担う再生細胞の分化多能性と 組織再構築能の検証	1,200,000	360,000
	法医学講座	榎本 祐子	助 教	死後培養線維芽細胞の血中エタノール濃度推定への応用	1,100,000	330,000

(単位:円)

令和3年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学からの転入の代表者等)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
学術変革領域研究(B)	医化学講座	寿野 良二	講師	過渡的タンパク質複合体の高速構造解析プラットフォームの構築	10,500,000	3,150,000	13,650,000
学術変革領域研究(A) 公募研究	生理学講座	安田 正治	講師	内受容感覚依存的な情動を伴う質感の神経メカニズムの解明	2,900,000	870,000	3,770,000
基盤研究(B)	地域看護学領域	大川 聡子	准教授	10代母親の逆境的小児期体験(ACE)を踏まえた妊娠期からの訪問プログラム開発	1,700,000	510,000	2,210,000
基盤研究(C)	理学療法学科	佐藤 春彦	教授	生体信号と生活場面のセンシングで超重症児の気持をくみ取る認識・識別システムの構築	600,000	180,000	780,000
	産科学・婦人科学講座	森川 守	教授	HELLP症候群における補体活性化と血管新生関連因子についての研究	900,000	270,000	1,170,000
	理学療法学科	浅井 剛	准教授	高齢者を対象とした、シナジー理論に基づく新しい歩行リハビリテーション法の開発	600,000	180,000	780,000
	微生物学講座	大隈 和	教授	HTLV-1ハイリスクキャリアの発症予防・治療薬創製とサル感染モデルを用いた評価	1,000,000	300,000	1,300,000
	がん生物学部門	坂本 毅治	教授	化学療法誘導性転移の新規分子機構の解明と予防法の確立	1,000,000	300,000	1,300,000
	作業療法学科	福井 信佳	教授	障がいを開示して就業した高学歴発達障がい者の職場定着に関する研究	500,000	150,000	650,000
	慢性疾患看護学領域	橋本理恵子	講師	治療を受ける若年成人がん患者の心理的適応を促進する看護ケアプログラムの開発	800,000	240,000	1,040,000
	理学療法学科	池添 冬芽	教授	骨格筋変性の加齢変化の解明および筋変性予防に効果的なトレーニング法の開発	1,200,000	360,000	1,560,000
	外科学講座	山崎 誠	准教授	高齢食道癌患者に対する術前化学療法施行中の運動・栄養介入の有用性試験	1,100,000	330,000	1,430,000
挑戦的研究(萌芽)	医化学講座	小林 拓也	教授	オピオイドの副作用の要因となるヘテロマー化受容体のシグナル伝達機構の解明	1,600,000	480,000	2,080,000
	薬理学講座	中邨 智之	教授	弾性線維の再生技術の開発	2,500,000	750,000	3,250,000
	附属光免疫医学研究所基盤開発部門	花岡 宏史	教授	外部からの光照射を必要としない革新的な光免疫療法の開発	1,500,000	450,000	1,950,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	ヒトの脳機能解明を目指した人工脳組織の作製・解析技術の開発	3,000,000	900,000	3,900,000
若手研究	作業療法学科	砂川 耕作	助教	MCIの視空間認知特性に着目した電子機器操作の介入モデルの開発	1,200,000	360,000	1,560,000
	附属光免疫医学研究所基盤開発部門	鈴木 基史	助教	PETイメージングによる放射線免疫併用療法の最適化	1,100,000	330,000	1,430,000
研究活動スタート支援	作業療法学科	橋本 晋吾	助教	認知機能検査としてのMixed Reality課題の基準関連妥当性	1,200,000	360,000	1,560,000
	作業療法学科	山下 円香	助教	fMRIを用いた高齢者の認知リハビリテーションにおける学習メカニズムの解明	700,000	210,000	910,000
	解剖学講座	関 亮平	助教	イモリ切断損傷脊髄の完全再生を担う再生細胞の分化多能性と組織再構築能の検証	1,200,000	360,000	1,560,000
	法医学講座	榎本 祐子	助教	死後培養線維芽細胞の血中エタノール濃度推定への応用	1,100,000	330,000	1,430,000
決定額(追加分)合計					37,900,000	11,370,000	49,270,000

(単位：円)

厚生労働省関係

令和4年度厚生労働行政推進調査事業費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	微生物学講座	大隈 和	教授	安全な血液製剤の安定供給に資する適切な採血事業体制の構築のための研究	3,696,000	1,104,000	4,800,000
政策科学総合研究事業	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	戦没者遺骨の身元特定に係るDNA鑑定精度向上に関する研究	20,091,000	2,559,000	22,650,000
合 計					3,696,000	1,104,000	4,800,000

(単位：円)

令和2年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患政策研究事業	香里病院	岡崎 和一	病院長	I g G 4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	九州大学 大学院歯学研究院 教授 中村 誠司	500,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	杏林大学 医学部 消化器内科学 教授 久松 理一	200,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教授	ペーチェット病に関する調査研究	日本医科大学 医学部 准教授 岳野 光洋	400,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	神経変性疾患領域の基盤的調査研究	独立行政法人国立病院機構 松江医療センター 名誉院長 中島 健二	700,000
	外科学講座	濱田 吉則	名誉教授	小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	東北大学 大学院医学系研究科 客員教授 仁尾 正記	150,000
	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	聖マリアンナ医科大学 医学部 教授 山野 嘉久	300,000
がん対策推進総合研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	患者・家族の意思決定能力に応じた適切な意思決定支援の実践に資する簡便で効果的な支援プログラムの開発に関する研究	国立研究開発法人 国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生	400,000
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	微生物学講座	大隈 和	教授	安全な血液製剤の安定供給に資する適切な採血事業体制の構築のための研究	国立感染症研究所 血液・安全性研究部 部長 浜口 功	1,000,000
	微生物学講座	大隈 和	教授	輸血用血液製剤と血漿分画製剤の安全性と安定供給を確保するための新興・再興感染症の研究	埼玉医科大学 医学部 准教授 岡田 義昭	1,400,000
合 計						5,050,000

(単位：円)

令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)	地域看護学領域	上野 昌江	教授	都道府県や県型保健所による子育て世代包括支援センターの機能強化支援のための研究	公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代	400,000
合 計						400,000

(単位：円)

令和3年度厚生労働省その他補助金(分担者)一覧

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	心療内科学講座	水野 泰之	診療講師	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	国立大学法人滋賀医科大学 医学部 附属病院 ペインクリニック科 講師 福井 聖	1,000,000
合 計						1,000,000

(単位：円)

その他公的研究費

令和3年度日本医療研究開発機構(AMED)、科学技術振興機構(JST)等委託費等採択一覧

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/研究分担者	研究代表者、共同研究者等(研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合計
日本医療研究開発機構(AMED)	創薬支援推進事業・創薬総合支援事業(創薬プスター)	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助教	インテグリン阻害による新規神経膠芽腫治療薬の探索	代表	-	8,136,364	813,636	8,950,000
日本医療研究開発機構(AMED)	次世代がん医療創生研究事業	微生物学講座	神奈木真理	客員教授	成人T細胞白血病細胞の抗原性増大による新規免疫療法の開発	代表	-	7,807,693	2,342,307	10,150,000

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合計
日本医療研究開発機構 (AMED)	慢性の痛み解明研究事業	医化学講座	片野 泰代	准教授	新規シナプス分子に着目した神経障害性疼痛の病態機序の解明とその予防および治療薬創出を目指した研究	代表	-	4,500,000	1,350,000	5,850,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ (AMED-CREST)	医化学講座	小林 拓也	教授	プロスタグランジン受容体の立体構造を基盤とした創薬開発を目指す革新的技術の創出	代表	-	16,000,000	4,800,000	20,800,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	再生医療実現拠点ネットワークプログラム	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	ヒト多能性幹細胞を用いた小脳疾患に対する再生医療のための技術開発	代表	-	15,000,000	4,500,000	19,500,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業診療に直結するエビデンス創出研究分野	内科学第三講座	長沼 誠	教授	エビデンスに基づいた難治性炎症性腸疾患に対する治療ポジショニングの構築	代表	-	9,327,500	2,798,250	12,125,750
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療創生研究事業	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	がん細胞・がん間質細胞特異的な酸素センシング機構を標的としたがん微小環境標的薬剤の開発	代表	-	8,760,152	2,628,045	11,388,197
日本医療研究開発機構 (AMED)	橋渡し研究プログラム	神経機能部門	小早川 高	准教授	感覚刺激による潜在的な生命保護作用誘導技術「感覚創薬」による敗血症治療薬の開発	代表	-	10,192,308	3,057,692	13,250,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ (AMED-CREST)	神経機能部門	小早川 高	准教授	マルチセンシングネットワークの統合的理解と制御機構の解明による革新的医療技術開発	代表	-	18,464,687	5,539,406	24,004,093
科学技術振興機構 (JST)	創発的研究支援事業	附属光免疫医学研究所基盤開発部門	花岡 宏史	研究所教授	革新的内視鏡治療のための局所投与用光免疫療法薬の創出	代表	-	6,125,000	1,837,500	7,962,500
日本医療研究開発機構 (AMED)	橋渡し研究プログラム	救急医学講座	室谷 卓	講師	感覚刺激による潜在的な生命保護作用誘導技術「感覚創薬」による敗血症治療薬の開発	分担	関西医科大学 小早川 高	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ (AMED-CREST)	生理学講座	中村 加枝	教授	マルチセンシングネットワークの統合的理解と制御機構の解明による革新的医療技術開発	分担	関西医科大学 小早川 高	6,492,000	1,947,600	8,439,600
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学講座	大隈 和	教授	HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究	分担	国立研究開発法人 国立感染症研究所 部長 浜口 功	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学講座	大隈 和	教授	一類感染症等の新興・再興感染症の診断・治療・予防法の研究推進	分担	国立研究開発法人 国立感染症研究所 室長 下島 昌幸	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	先進的医療機器・システム等技術開発事業 基盤技術開発プロジェクト	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教授	下肢装具から脱却するためのリハビリテーションを支援する歩行介入エンジンの研究開発	分担	株式会社国際電気 通信基礎技術研究所 野田 智之	13,695,000	4,108,500	17,803,500
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助教	サメVNAR作製プラットフォームを基盤とした次世代抗体医薬品の開発技術高度化	分担	国立大学法人 愛媛大学 准教授 竹田 浩之	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム (ACT-MS)	腎泌尿器外科学講座	木下 秀文	教授	ロボット支援手術における熟練技術追体験型学習システム	分担	学校法人大阪芸術大学 教授 安藤 英由樹	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	神経内科学講座	薬師寺祐介	教授	脳出血超急性期患者への遺伝子組換え活性型第VII因子投与の有効性と安全性を検証する研究者主導国際臨床試験	分担	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 副院長豊田 一則	307,693	92,307	400,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	吉岡 弘鎮	准教授	高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法ランダム化比較第III相試験	分担	静岡県立静岡がんセンター 部長 高橋 利明	500,000	150,000	650,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	井上健太郎	准教授	病理学的Stage II/III で“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	分担	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 教授 吉田 和弘	100,000	30,000	130,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	内科学第一講座	佐竹 敦志	講師	急性骨髄性白血病に対する治療用がんペプチドワクチン「DSP-7888」のPhase2医師主導治験	分担	国立大学法人大阪大学 助教 中田 潤	846,077	253,823	1,099,900
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	薬理学講座	中邨 智之	教授	新規大動脈解離マウスモデルを用いたマルファン症候群等類縁疾患の大動脈解離発症機序の解明	分担	国立大学法人筑波大学 教授 柳沢 裕美	2,000,000	600,000	2,600,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	ウイルス等感染症対策技術開発事業	救急医学講座	中森 靖	診療教授	ウイルス等感染症対策技術開発事業/新型コロナウイルス肺炎に対する高性能新規ECMOシステムの有効性・安全性に関する臨床研究	分担	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 部長 福嶋 教偉	0	0	-

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構 (AMED)	先端のバイオ創薬等基盤技術開発事業	医化学講座	小林 拓也	教 授	拡張結晶スポンジ法によるタンパク質の革新的分子構造解析	分担	国立大学法人京都大学 准教授 藤田 大士	4,700,000	1,410,000	6,110,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	認知症等対策官民イノベーション実証基盤整備事業	精神神経科学講座	嶽北 佳輝	准教授	安静時脳波により超早期認知症を検知・識別する人工知能の開発と検証	分担	国立大学法人大阪大学 教授 池田 学	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	心療内科学講座	蓮尾 英明	講 師	オビオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 科長 松岡 弘道	238,651	71,595	310,246
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	関本 貢嗣	教 授	直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 科長 伊藤 雅昭	400,000	120,000	520,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	がんセンター	佐竹 悠良	准教授	SCRUM-Japan の基盤を活用したNF2E2L2 遺伝子変異を有する喫煙関連扁平上皮がんに対するsapanisertib (TAK-228) の医師主導治験	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 医長 岡野 晋	1,900,000	570,000	2,470,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	木川雄一郎	助 教	がん患者における患者報告アウトカム尺度開発に関する研究	分担	国立大学法人神戸大学 特命准教授 清田 尚臣	350,000	105,000	455,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+パメドレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 副院長・呼吸器内科長 大江 裕一郎	200,000	60,000	260,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 分野長 濱田 哲暢	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測に関する研究	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 医員 吉田 達哉	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 分野長 小川 朝生	800,000	240,000	1,040,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	再生医療実用化研究事業 ※令和2年度繰越し契約分	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者に対するG-CSF動員自家末梢血CD34陽性細胞の経肝動脈投与に関する臨床研究	分担	学校法人久留米大学 教授 鳥村 拓司	2,405,000	721,500	3,126,500
日本医療研究開発機構 (AMED)	再生医療実用化研究事業 ※令和3年度継続契約分	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者に対するG-CSF動員自家末梢血CD34陽性細胞の経肝動脈投与に関する臨床研究	分担	学校法人久留米大学 教授 鳥村 拓司	154,000	46,200	200,200
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療創生研究事業	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	低酸素がミトコンドリア1炭素代謝酵素及びFXFD3阻害効果に及ぼす影響の解析(分担課題名)	分担	国立大学法人金沢大学 教授 後藤 典子	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	肝がんマウスモデルを用いたMint3阻害効果の検証(分担課題名)	分担	国立大学法人金沢大学 教授 金子 周一	2,000,000	600,000	2,600,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第二講座	竹花 一哉	准教授	心臓核医学検査による特異性心筋病態層別化指標の確立	分担	国立大学法人大阪大学 教授 坂田 泰史	400,000	120,000	520,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学講座	藤澤 順一	客員教授	ヒト化マウスを用いたHTLV-1感染細胞の解析(分担課題名)	分担	国立大学法人東京大学 教授 内丸 薫	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症研究基盤創生事業(多分野融合研究領域)	ゲノム解析部門	安河内彦輝	講 師	医学、進化学、情報科学の融合研究による耐性化しない抗マラリア薬の創薬にむけた基盤技術の開発	分担	学校法人順天堂 教授 美田 敏宏	750,000	225,000	975,000
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発(RISTEX))	心療内科学講座	阿部 哲也	准教授	運動機能障害者の就労・教育を支援するジェスチャインタフェースの社会実装	分担	国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員 依田 育士	600,000	180,000	780,000
科学技術振興機構 (JST)	未来社会創造事業	心療内科学講座	蓮尾 英明	講 師	QOL計測とハートフルネス実践による食体験共有システム	分担	国立大学法人京都大学 教授 中村 裕一	1,000,000	300,000	1,300,000
科学技術振興機構 (JST)	研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム COI拠点「乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創生拠点」	作業療法学科	吉村 匡史	教 授	個別プロジェクト名:経頭蓋直流刺激(tDCS)による活性化	分担	中核機関・大阪大学COI拠点	2,500,000	750,000	3,250,000

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
科学技術 振興機構 (JST)	研究成果展開事業 大学 発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 SBIRフェーズ1 支援	分子遺伝学 部門	池田 幸樹	助 教	未利用水産資源を有効活用す る次世代抗体作製技術のフイ ージビリティスタディ	分担	国立大学法人愛媛大学 准教授 竹田 浩之	2,700,000	810,000	3,510,000
大阪大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	放射線科学 講座	中村 聡明	准教授	放射線画像データおよび医師所 見による骨関連事象事前予測の ためのAIシステムの開発	代表	-	1,800,000	200,000	2,000,000
九州大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	細胞機能部門	林 美樹夫	講 師	地域と拠点を結び世界へ展開す る新規医療技術の研究・開発シ ーズA235「ムコリピンを標的と した脳腫瘍治療薬の開発」	代表	-	2,750,000	0	2,750,000
京都大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	病理学講座	石田 光明	講 師	乳癌再発リスク層別化に向け た新規予後予想キットの開発	代表	-	3,054,546	305,454	3,360,000
京都大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	腎泌尿器 外科学講座	吉田 崇	助 教	骨盤内・後腹腔腔内管腔臓器 に対する、磁気共鳴イメージ ング(MRI)プローブを内蔵し た診断用カテーテルの開発	代表	-	3,054,546	305,454	3,360,000
京都大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	薬理学講座	赤間 智也	准教授	新規な硫酸化糖鎖抗体を用い た卵巣がんの検査および治療 法の開発	代表	-	3,054,546	305,454	3,360,000
京都大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	解剖学講座	田中 進	准教授	IFT88を用いた低異型度尿路 上皮内腫瘍の診断法の開発	代表	-	0	0	-
東北大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	衛生・公衆 衛生学講座	神田 靖士	准教授	尿中miRNAをマーカーとす る結核感染における新規診断 キットの実用化	代表	-	1,863,637	186,363	2,050,000
合 計								175,529,400	47,661,086	223,190,486

(単位：円)

その他外部資金

令和3年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

令和3年度に採択された各種助成財団による研究助成金を下記の研究者が受贈された。(大学を通じての申請分を掲載)

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人ソロプチミスト日本財団 令和3年度ソロプチミスト日本財団女性 研究者賞	医学部形成外科学講座 覚道 奈津子 教授	ヒト脂肪幹細胞の特性解析と再生医療への応用：新たな乳房再建法の確 立	5,000,000
公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財 団 令和3(2021年度)研究・活動助成	医学部小児科学講座 柳本 嘉時 助教	不登校を伴う起立性調節障害児が抱える不安に対する入院加療の有用性 の検討	400,000
公益財団法人日本対がん協会2021年度リ レー・フォー・ライフ・ジャパン「プロ ジェクト未来」研究助成	附属生命医学研究所がん生 物学部門 坂本 毅治 学長特命教授	多臓器連関を標的とした新規化学療法最適化法の開発	1,000,000
公益信託循環器学研究振興基金2021年度 研究助成	医学部内科学第二講座 橋本 健太 研究医員	Plaque erosionの発生機序解明と、血管内画像診断アルゴリズム構築に関 する研究	2,000,000
公益財団法人上原記念生命科学財団2021 年度研究助成金(健康科学・医学・薬学)	医学部産科学・婦人科学講座 森川 守 診療教授	AIを用いた深層学習による分娩予後予測モデルの作成	5,000,000
公益財団法人日本膀胱癌研究財団第29回 (令和3年度)膀胱癌研究奨励賞	附属光免疫医学研究所基盤 開発部門 鈴木 基史 助教	IGF1Rを標的とした新規免疫療法の確立	300,000
公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 2022年度(B)個人研究助成	医学部小児科学講座 赤川 翔平 講師	機能性大麦を用いた腸内細菌叢を標的とする新たな食物エネルギー治療 法の開発	2,000,000
公益財団法人大阪コミュニティ財団2022 年4月「難病研究助成」	医学部脳神経外科学講座 埜中 正博 診療教授	二分脊椎症の原因遺伝子の解明	1,000,000
公益財団法人日本二分脊椎・水頭症研究 振興財団 第28回(2021年度)研究助成	医学部脳神経外科学講座 磯崎 春菜 助教	脊髄髄膜瘤の予防法の開発	500,000
公益財団法人川野小児医学奨学財団2022 (令和4)年度研究助成 一般枠	医学部脳神経外科学講座 埜中 正博 診療教授	二分脊椎症の予防に向けた原因遺伝子の解明：患者の全ゲノム解析から 疾患モデル動物の創造に至るリバーストランスクリプションリサーチ	3,000,000
公益財団法人金原一郎記念医学医療振興 財団 2021年度下期助成事業第36回研究 交流助成金	医学部病理学講座 大江 知里 講師	米国・カナダ病理学会 第111回学術集会The United States and Canadian Academy of Pathology's 111th Annual Meeting	200,000
東京大学医科学研究所2022年度共同研究 (国内)	附属生命医学研究所がん生 物学部門 坂本 毅治 学長特命教授	化学療法による転移がんの多臓器連関変容機構の解明	688,000
公益財団法人大阪対がん協会2021年度が ん研究助成奨励金	附属生命医学研究所がん生 物学部門 田中 伯享 助教	腫瘍浸潤IL-10産生抑制性B細胞の新規分化機構の解明	300,000

※受贈者の職名は2022年6月現在のものです。

(単位：円)

若手研究者特集

様々な研究活動とその成果が学内外から表彰され、躍動する本学の若手研究者たち。その活躍の一端をご紹介します。
※記事企画時点で40歳以下で、一定の研究成果を持つ研究者の先生方に取材する連載企画です。

脊髄再生を可能とするメカニズムを明らかにするために

解剖学講座 林 真一 講師

—現在の研究テーマとそのテーマに決めたきっかけを教えてください—

もともと東北大学でアフリカツメガエルの器官再生を研究しており、海外留学などを経て一時的に再生研究からは離れていたのですが、北田容章教授が関西医科大学解剖学講座の教授に着任される際に一緒にイモリの脊髄再生を研究しませんかと誘っていただきました。研究に対する姿勢に共感を持ち、イモリの脊髄再生という研究分野が非常に魅力的に感じられたため、共に研究させていただくことを決めました。

自分達で飼育設備の作成を行う必要があることに加えて、私にとってはイモリの飼育も研究も始めてのことで不安がありました。自分達で作って行く過程は自分で思っていた以上にやりがいがありました。広島大学両生類研究センターの先生方も我々のイモリ研究立ち上げに快く協力してくださって、イモリの再生研究を行えるまでに至りました。



—その研究について教えてください—

イモリは一見、ヒトから遠く離れているようにも思えますが、四肢があって、脳があって、心臓があって、と基本的な構造は同じです。遺伝子にも共通するものが多くあり、それらの遺伝子によって作られるボディプラン(体作りの基本様式)も大部分が共通しています。

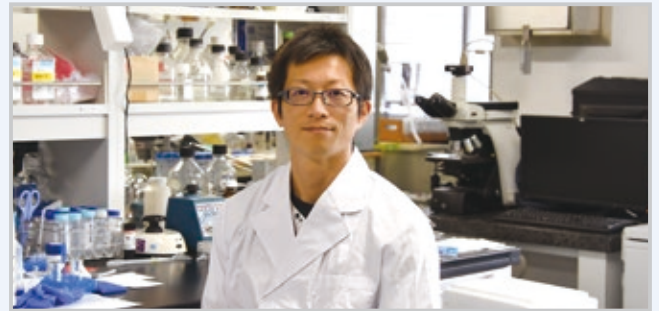
イモリの神経もヒトの神経と同じように電気信号を送る役目があり、機能という点では同じと言って良いと思いますが、再生能力という点では全く異なります。ヒトでは損傷を受けた神経は再生しませんが、同じ神経であってもイモリでは損傷した神経の完全再生が起こります。特に細胞の一部に当たる軸索が元通りになる軸索再生に留まらず、神経細胞自体が新たに産み出される神経新生が起こります。この神経新生はヒトでは見られない現象です。ここには確実に再生を可能とするメカニズムがあるはずで、それが解明できれば、もしかしたらヒトの再生医療に応用できるかもしれないと期待しています。

現在はイモリ脊髄の再生メカニズムの解明、つまりイモリからその再生メカニズムを学んでいる段階ですが、将来的には乳類での脊髄再生能力改善へ繋げることを念頭に研究を進めています。

—研究の目標としていることや将来展望を教えてください—

なぜ、どうやって脊髄再生を可能としているのか、そのメカニズムを明らかにすることが第一の目標です。ヒトでは決して再生しないものを再生させるという再生医療の最終目標にイモリは簡単に到達しています。まずはその謎を明らかにする必要があります。

イモリ脊髄再生における網羅的な遺伝子発現解析から、ほ乳類にも共通の遺伝子群、両生類や魚類に共通の遺伝子群、そしてイモリ固有と見られる遺伝子群が再生時に高発現していることがわかりました。これらの遺伝子群から脊髄再生を担っている因子を特定し、遺伝子そのものの作用や相互作用する因子との関わり合いを解明し、再生原理を明らかにすることを目指します。



イモリ脊髄再生におけるメカニズムを明らかにした上で、次の段階として、それらが実際に再生できないほ乳類の脊髄を再生させることができるかを検証していくこととなります。遺伝子の導入方法の検討や共通性が多いとはいえイモリとほ乳類における違いを考慮して機能の最適化も検討しなければなりません。再生できないほ乳類の脊髄損傷をイモリ型の脊髄再生、つまり脊髄完全再生化を目指すという非常に壮大な目的を持つ研究となりますが、少しでも再生医療に貢献できるように一歩一歩進めていきたいと考えています。

—研究への思いや後輩へのメッセージをお願いします—

両生類の再生研究は理学としての研究が多く、医学部で再生医療への応用を目指して両生類の再生研究をしている研究者は少ないのが現状だと思います。研究分野としても他の分野と比較して、一歩も二歩も遅れていると言わざるを得ません。しかし、イモリをはじめ、サンショウウオやカエルなど、ゲノムが解読された種も増えてきました。またゲノム編集技術も発展したため、遺伝子改変による解析が容易になってきました。これまでの技術的問題が次々と解決していく状況から、これから他分野にどんどん追いついていくことになると思います。

神経新生を含め、非常に重要な生物学的イベントが起こり、魅力的な研究対象であるにも関わらず解析と解明が進んでいないということは、つまり、そこにはたくさんのお宝が眠っていることになります。幸運にも私はそのようなお宝を探すというやりがいのある研究を行う機会を得ました。どの研究分野であっても、これから研究を行う人達が先の見える既定路線の研究ではなく、お宝を探すようなやりがいのある研究をしてほしいと思います。

受賞歴

- ① 関西医科大学 令和2年度 関西医科大学教育奨励賞受賞
- ② 関西医科大学同窓会、第38回 令和2年度 加多乃賞受賞、脊髄再生に基づく新規再生医療法開発

競争的研究費採択歴

- ① 令和3年度KMU研究コンソーシアム 難治性疾患におけるncRNAデフリンティングと核酸医薬創出 総額200万円、研究期間：2021年 研究分担者：林真一(研究代表者：大江 総一)
- ② 脳由来胆汁酸の機能解明と脳梗塞新規治療デザイン確立への応用 日本学術振興会：科研費 基盤研究C 320万円(分担45万円)、研究期間：2021年-2023年 研究分担者：林真一(研究代表者：大江 総一)
- ③ 脊髄再生における二胚葉性幹細胞の出現と役割の解析 日本学術振興会：科研費 基盤研究C 340万円、研究期間：2020年-2022年 代表者：林真一
- ④ 脊髄再生メカニズムの再現による新規再生医療法開発 金原一郎記念医学医療振興財団 第34回基礎医学医療研究助成 100万円、研究期間：2020年 代表者：林真一
- ⑤ 体幹幹細胞-沿軸中胚葉から腎臓原基への分化転換 加藤記念バイオサイエンス振興財団：加藤記念研究助成 200万円、研究期間：2018年-2019年 代表者：林真一
- ⑥ 体幹幹細胞を特効付ける遺伝子発現の探索と役割 日本学術振興会：研究活動スタート支援 210万円、研究期間：2017年-2018年 代表者：林真一
- ⑦ マウス指再生におけるSall4 遺伝子の機能解析 上原記念生命科学財団：リサーチフェロウシップ 360万円、研究期間：2016年-2016年 代表者：林真一

骨軟部組織感染症に対する原因菌検出率を改善し、適切な治療を行うために

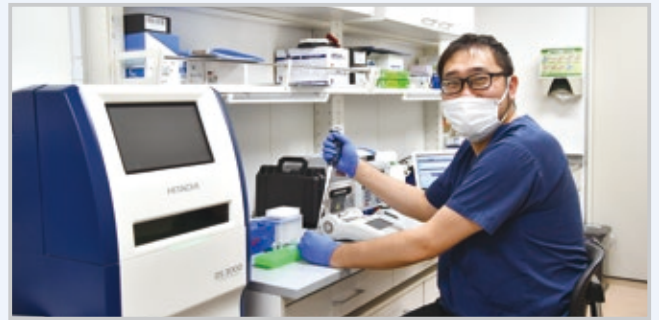
整形外科学講座 外山 雄康 助教

—現在の研究テーマにとりくんだきっかけを教えてください。
また、その研究について教えてください。

研究テーマは「骨軟部組織感染症に対する原因菌検出率の向上」です。この場合骨軟部組織とはいわゆる軟骨や骨、皮膚、腱などのことを指します。整形外科の日常診療において、切傷、挫傷、手術後など創処置が必要な患者によく遭遇します。大部分で経験に基づいた抗菌薬加療と創部処置で症状が軽快しますが、まれに感染徴候が出現し、外科的治療が必要な症例に遭遇します。外科的治療が必要な症例では感染が沈静化しても、著しい機能障害が残存します。整形外科領域の感染症では治療早期に適切な抗菌薬加療が必要であり、そのためには原因菌の検出が必須です。しかし、骨軟部組織感染症において従来の培養検査では、原因菌の検出率が低くありません。特に私が診察する手外科領域の感染症疾患はすでに抗菌薬が長期間投与されている例が多く、培養検査を施行しても、原因菌が検出されないことが多く、臨床所見は感染徴候を示しているにもかかわらず、本当に感染症という診断でいいのかまたは感染症であっても沈静化しているのか判断に難渋します。そこで手の外科領域における骨軟部組織感染症に対して、原因菌検出率を改善する方法はないかと疑問に思いました。研究テーマを決めようとしていた当時の整形外科では、人工関節周囲感染において、摘出したインプラントを超音波処理しバイオフィーム(細菌が薬剤や体内の免疫反応から身を守るためにコミュニティを作って増殖した膜状のもの)を破碎し、超音波処理液を血液培養ボトルにいれ、培養検査すること(超音波処理法)で従来の培養検査よりも検出率を改善させる方法の有用性を報告していました。超音波処理法は整形外科領域だけでなく心臓カテーテル、乳房インプラント、中心静脈カテーテルによる他科のインプラント感染に対しても有用性の報告はあるものの、生体組織においてその有用性の報告はされていませんでした。バイオフィームはインプラント以外に生体組織にも形成されるため、超音波処理法が有用ではないかと考え、その後、手外科領域の生体組織に対しても超音波処理法を用い、従来法と超音波処理法で培養検査を比較し検証したところ、生体組織に対しても超音波処理法が有効であることがわかり、学会や論文で報告してきました。しかしまだ超音波処理法でも原因菌検出が検出されていない症例を認めています。

—研究の目標としていることや将来展望を教えてください。

現在、人工関節周囲感染において、今ではコロナウイルスでおなじみのPCR検査が診断基準に組み込まれるようになっており、当講座の関西医科大学総合医療センター整形外科ゲノム解析センター副センター長の植田成実先生は人工関節周囲感染に対して、PCRや次世代シーケンサーを用いた診断精度の向上



において、日本のトップランナーです。私は植田先生の指導の下、手の外科領域の骨軟部組織感染症の生体組織検体におけるPCRや次世代シーケンサーを用いた診断精度の向上についての検証を行っています。これまでの超音波検査法だけでは原因菌が検出できなかったものでも、PCRや次世代シーケンサーを用いたりすることで、更なる原因菌検出率の向上につながるのではないかと考えています。また生体組織への有用性が検証できれば、他科の感染症においても用いることができるのではないかと考え、研究している次第です。

—研究への思いや後輩へのメッセージをお願いします。

日常診療において、不明な点はたくさんあり、もちろんそのような場合過去の文献を調べたりしますが、それでも疑問が解消されない場合もたくさんあると思います。些細なことでもいいので、自分で検証していくことで、臨床医としての幅が広がるのではないかと思います。共に頑張りましょう。

受賞歴

第42回日本骨感染症学会優秀ポスター賞
[超音波処理法による骨・軟部組織感染症の診断(2例報告)]

獲得資金

JSPS KAKENHI Grant Grant-in-Aid for Young Scientist (A) 2020 No. JP 20K18043
[NGSと新規迅速PCR 骨軟部組織感染症迅速診断法の研究]

関連論文

外山 雄康, 浜田 佳孝, 徳永 裕彦, 植田 成実, 齋藤 貴徳. 超音波処理法による骨・軟部組織感染症の診断(2例報告), 日本骨・関節感染症学会雑誌; 33 50-54, 2019

Takeyasu Toyama, Narumi Ueda, Yoshitaka Hamada, Kazuyuki Okuda, Takanori Saito.

Inoculation of sonicate fluid into blood culture bottles improves microbial detection in patients with orthopedic bone and soft tissue infections of the upper and lower extremities, Journal of Orthopaedic Science 2021(in press)

Takeyasu Toyama, Yoshitaka Hamada, Emiko Horii, Riichiro Kinoshita, Takanori Saito
Finger Rescue Using the Induced Membrane Technique for Osteomyelitis of the Hand
The Journal of Hand Surgery (Asian-Pacific Volume); 26(2): 235-239, 2021

外山雄康, 植田成実, 齋藤貴徳. 整形外科骨・軟部組織感染症及び人工関節周囲感染における血液培養ボトルを併用した超音波処理法, 別冊整形外科No.81: 54 - 59, 2021

附属病院

第1回附属病院地域連携Webセミナー

4月16日(土) 14時から、第1回附属病院地域連携Webセミナーが開催され、地域医療機関の医師、看護師、その他医療従事者、介護福祉従事者など101人が視聴しました。

地域医療連携部木下秀文部長が総合司会を務め、松田公志病院長による開会挨拶、交野市医師会小巢裕成会長による挨拶が述べられました。

その後の学術講演は、脳神経内科薬師寺祐介教授による「変貌する脳卒中地域連携 ～脳卒中と循環器病克服第2次5カ年計画を迎えて～」、産婦人科森川守診療教授による「胎児治療の導入－搬送受け入れを断らない周産期医療を目指して－」の2つの講演が行われました。

最後に齋藤貴徳副病院長による閉会挨拶が行われ、盛会裏に幕を閉じました。



講演を行う薬師寺教授(写真奥)手前は木下部長

附属病院

保育所に病児保育室開設

令和2年に設置されたオール女性医師キャリアセンターでは、女性医療職等が適切なワークライフバランスを保ちながら勤務を継続できるよう積極的に取り組んでいます。近年特に女性医師数が増加し環境構築が急務となる中、環境改善の取り組みの一環として、4月25日(月)、附属病院保育所に病児保育室を開設しました。定員は2名で、うち1名は女性医師専用枠になり、先着順で受け付けています。対象者は附属病院または香里病院に勤務する女性医師・女性看護師である保護者が養育する満1歳～未就学児までの子等になります。なお、ご利用にあたっては事前登録が必要です。詳細は、附属病院管理課庶務係までお問い合わせください。

附属病院

がん教育講演会

6月27日(月) 14時25分から枚方市立津田中学校(枚方市)において、がんセンター松森恵理師長(がん性疼痛看護認定看護師)が2学年6クラスの生徒を対象にがんについての出張授業を行いました。これは大阪府が進める学校教育でのがん啓発活動の一環としての取り組みで、がんに関する知見の社会還元を目的としたものです。

授業では、がんに関する基礎知識から原因、予防などについてわかりやすく解説。大人数での授業でも、集中力が切れることのないよう周囲との相談タイムを合間に設けるなど参加型の授業を実施し、松森師長も積極的に生徒とコミュニケーションをとっていました。普段友達同士で話題にすることが少ないがんや、検診のことなどを共有することで、がんについて考える貴重な機会となったようでした。



生徒に質問する松森師長

総合医療センター

キャンサーボード開催

5月23日(月) 18時から「第36回関西医科大学総合医療センターWebキャンサーボード」が開催されました。血液腫瘍内科石井一慶部長が「血液腫瘍内科病棟で経験したコロナによる病棟閉鎖」と題して講演を行い、地域医療機関の関係者27名が聴講しました。

また、6月13日(月) 18時から南館2階臨床講堂で「第37回関西医科大学総合医療センターキャンサーボード」が開催されました。消化管外科徳原克治准教授が「全身化学療法により長期生存が得られている上行結腸癌腹膜播種の1例」と題して講演を行い、院内、院外合わせて26名が参加しました。



香里病院

地域で考える骨粗鬆症連携セミナー

5月28日(土) 15時から、Web形式にて「地域で考える骨粗鬆症連携セミナー」が開催され、地域医療機関の先生を中心に本学の医師、看護師、医療技術職を含む42人が視聴しました。

整形外科上田祐輔部長から開会の挨拶がなされた後、一般講演並びに特別講演が開催されました。一般講演として、初めに高橋延行副病院長・腎臓病センター長の座長の下、整形外科の上野直美外来看護師から「当院における骨粗鬆症地域連携の実例—導入後1年の症例から—」、次に香川クリニックの香川英生院長の座長の下、みやしまりウマチ整形外科クリニックの宮島茂夫院長から「骨粗鬆症治療におけるかかりつけ医の役割」、最後にますだ整形外科の榊田理院長の座長の下、高橋副病院長・腎臓病センター長から「内科医から見た骨粗鬆症—CKDと骨粗鬆症—」とそれぞれ題して3つの講演が行われました。

また、整形外科上田部長の座長の下、新潟リハビリテーション病院の山本智章院長から「二次骨折予防の新たな評価とFLSの実践」と題した特別講演が行われました。

無料 Wi-Fi サービス開始

5月20日(金)から、附属病院の外来フロア及び入院病棟において、患者さんや付き添いの方々などを対象に、無料Wi-Fiサービスの提供を開始いたしました。

卒後臨床研修センター



民間医局レジナビフェア2022大阪～専門研修プログラム～出展

4月24日(日) 12時から、グランフロント大阪北館地下2階ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市北区)において「レジナビフェア2022大阪～専門研修プログラム～」が2年ぶりに対面開催され、内科6科(第一内科、第二内科、第三内科、心療内科、脳神経内科、呼吸器腫瘍内科)、外科、産婦人科、救急医学科、麻酔科が参加しました。当日は179名の来場者のうち、先生方の熱心な勧誘が実を結び、本学のブースには医学生を含む74名が訪れ、専門研修についての質問が飛び交いました。



本学ブースの様子

令和5年度採用専門研修プログラム説明会

5月21日(土) 15時から、枚方キャンパス医学部棟3階学生食堂において、18のブースに分かれて各科による専門研修プログラムの説明会が開催されました。当日は本学の研修医49名、他病院研修中の研修医10名が参加し、各々ブースで個別に質問し、専門研修への理解を深めました。



説明会の様子

令和4年度第1回臨床研修指導医養成講習会開催

5月27日(金)・28日(土)の2日間、ホテルフクラシア大阪ベイ(大阪市住之江区)において「令和4年度第1回臨床研修指導医養成講習会」が開催され、学内の医師免許取得後7年以上の医師29名が受講しました。

これは厚生労働省が定めた指針に基づき、2日間で16時間以上の講習会を受講して研修医を指導できる資格を取得するための講習会です。アドバイザータスクフォースとして、東京医科大学茨城医療センター福井次矢院長、独立行政法人国立病院機構関門医療センター林弘人院長を招聘し、ワークショップ形式での全体討議、グループワーク、講義が行われ、活発な意見交換が行われました。



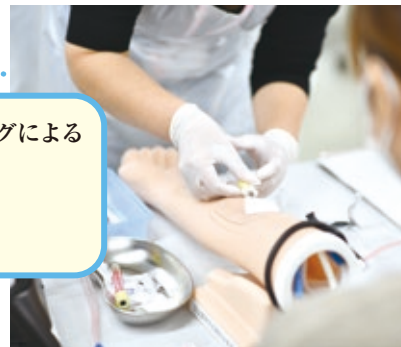
看護師のための復職支援 関医・看護師リカレントスクール 第6期生募集!!

【10月17日(月)～12月5日(月)】開講

募集対象 ▶ 看護師として復職を目指している方
定員 ▶ 10名
受講料 ▶ 8,000円(実費相当)

- ◆ 講義はリモート!e-ラーニングによる多様な学習を自宅で
- ◆ 最新の知識と技術の習得
- ◆ 希望者には就職支援

関西医科大学 看護キャリア開発センター TEL 072-804-2849
E-mail rikarent@hirakata.kmu.ac.jp



「子宮頸がんになる前の病変を切らずに治すために」



新規治療の早期検証試験に向けクラウドファンディングを実施

産科学・婦人科学講座(主任教授・岡田英孝)北正人診療教授は、子宮頸がん前がん状態の新治療法開発にむけ、ネット寄付であるクラウドファンディングを開始しました(実施期間7月5日(火)～8月31日(水))。

子宮頸がんの罹患率は令和2年以降上昇しています。HPV感染後は、CIN・上皮内がんを経て子宮頸がんへの進行を抑える効果はワクチンにはなく、子宮頸がん検診による「がん化の早期発見」と、子宮温存のための「円錐切除」による対応が中心です。しかし円錐切除は、手術における取り残しや追加治療が必要となる場合、また再発する場合があります。さらに円錐切除術後には早産率の上昇もあり、不妊症の原因になることもあります。

今回北診療教授らが開発に取り組む治療法は、「光線力学的療法(PDT)」の技術を応用して子宮頸がんの前段階、子宮頸部上皮内腫瘍(CIN)の状態では治療するもので、手術で切除することなく低侵襲で行える、患者さんに優しいものです。この治療法を前がん状態と診断されたが治療方法に悩んでいる患者さんに、一刻でも早くお届けするために、クラウドファンディングを行うことにいたしました。

※詳細は本学サイト掲出のプレスリリースなどをご覧ください。

関西医科大学 子宮頸がん レディーフォー



卒業生教授 就任のご紹介

和歌山県立医科大学小児科学教室 教授 徳原 大介氏



令和4年1月1日付けで和歌山県立医科大学小児科学教室の第8代教授を拝命いたしました。私は関西医科大学の66回生で、空手部・ESS・コールクライスに所属していました。学生時代は学業よりも部活動や国内外の医学生団体との交流に時間を費やすことが多く、卒業後は滝井の附属病院で約2年間研修したことなど懐かしく思い出されます。今後、母校と和医大との交流が進み、その架け橋の一端を担えることを願っています。

略歴

平成10年 3月	関西医科大学卒業
平成10年 6月	関西医科大学附属病院小児科 研修医
平成13年 6月	大阪市立大学医学部附属病院小児科 前期臨床研究医
平成13年 8月	大阪市立住吉市民病院小児科 前期臨床研究医
平成18年 3月	大阪市立大学大学院医学研究科博士課程修了 学位(医学)取得
平成18年 4月	大阪市立大学医学部附属病院小児科 前期臨床研究医
平成19年 4月	東京大学医科学研究所粘膜炎免疫学部門 研究生
平成20年 7月	東京大学医科学研究所粘膜炎免疫学部門 博士研究員
平成22年 8月	米国アラバマ大学バーミングハム校免疫ワクチンセンター客員研究員
平成24年 4月	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 講師
(平成30年 4月～平成31年 3月)	米国カリフォルニア大学サンディエゴ校消化器内科学 客員研究員
令和元年 7月	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 准教授
令和4年 1月	和歌山県立医科大学小児科学講座 教授

学会主催報告

令和4年4月～6月、本学が主催および事務局を務めた主な学会を紹介します。

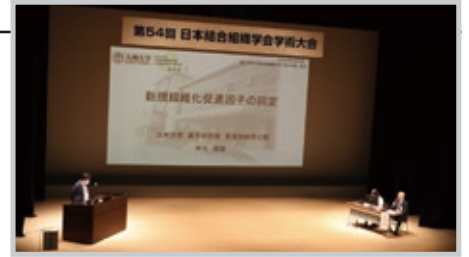
第54回日本結合組織学会学術大会

■会期 令和4年6月25日(土)、26日(日)

■場所 枚方市総合文化芸術センター

細胞外マトリックス、結合組織の研究をテーマとする歴史の長い学会で、基礎・臨床・企業の研究者がバランス良く参加しています。今回は特別講演に近藤滋先生(大阪大)、浅原弘嗣先生(東京医科歯科大)、マイスターズレクチャーに永田和宏先生(JT生命誌研究館)をお招きし、久しぶりの現地開催となりました。163名を動員し、枚方市総合文化芸術センターの学会場としての使い勝手を検証する機会にもなりました。

【大会長：薬理学講座 中邨 智之 教授】



第71回日本医学検査学会

■会期 令和4年5月21日(土)～22日(日) オンデマンド配信5月21日(土)～7月10日(日)

■場所 大阪市南港ATCホール ハイアットリージェンシー大阪

■テーマ 躍動！次代に繋ぐ臨床検査～challenge for the future～

臨床検査に関する最大規模の学会で、今回は特別企画・文化講演等は2年ぶりの現地開催(一部はオンデマンド配信)、一般演題はオンデマンド配信のハイブリッド形式で開催しました。現地開催では2,345名、Web開催を含めると7,000名の参加がありました。新型コロナウイルス感染症の第6波の中での開催であり特別企画や一般演題ではCOVID-19に関連する発表が多く、最新の検査技術やがんゲノム解析に関するものも見受けられました。展示では多数の企業の参加があり入場できない会場がでるほど、徐々に活気のある学会となりました。

【学会長：くずは病院 検査部 高田 厚照 臨床検査技師】



学会賞等受賞情報

令和4年4月～6月の学会賞等受賞者を紹介します。

第31回日本泌尿器医学功労賞

■所属病院 松田 公志 病院長

■受賞理由 泌尿器医学界の指導者として多大の功績と後進の育成

■授与学会 日本泌尿器科学会



学術奨励賞

■小児科学講座 中村 祥崇 助教

■テーマ Recent acute reduction in macrolide-resistant Mycoplasma pneumoniae infections among Japanese children

■授与学会 第70回日本化学療法学会



宮澤賞

■呼吸器腫瘍内科学講座 延山 誠一 准教授

■テーマ Interventional Pulmonologyの研鑽とFunctional Bronchoscopyの開発

■授与学会 第45回日本呼吸器内視鏡学会 学術集会



Best Paper Award

■整形外科科学講座 石原 昌幸 助教

■テーマ Rod contour and over-correction are risk factors of proximal junctional kyphosis after adult spinal deformity correction surgery

■授与学会 第12回最小侵襲脊椎治療学会



西記念賞

■外科学講座 山崎 誠 准教授

■テーマ Multicenter prospective trial of total gastrectomy versus proximal gastrectomy for upper third cT1 gastric cancer

■授与学会 第94回日本胃癌学会総会



Poster Presentation Winner

■産科学婦人科学講座 神谷 亮雄 助教

■テーマ The volume of cervical varices correlates with intraoperative blood loss in posterior placenta previa

■授与学会 The 27th Asian and Oceania Federation of Obstetrics and Gynaecology Congress



Japanese Journal of Radiology(JJR) Excellent reviewer award in 2022

■放射線科学講座 米虫 敦 講師

■受賞理由 英文学会誌の査読者として、遅滞なく高頻度に査読を行ったことに対する評価

■授与学会 第81回日本医学放射線学会総会



Featured Abstract

■放射線科学講座 丸山 拓士 研究医員

■テーマ Changes in thoracic duct pressure before and after thoracic duct embolization in swine

■授与学会 第51回日本IVR学会総会(合同開催: The 14th International Symposium of Interventional Radiology(ISIR 2022), 16th Annual Scientific Meeting of Asia Pacific Society of Cardiovascular and Interventional Radiology(APSCVIR 2022))



奨励賞

■附属生命医学研究所モデル動物部門 村山 正承 講師

■テーマ 疾患モデルマウスを用いた神経変性・免疫疾患の発症機構の解明および治療薬・治療法開発

■授与学会 第69回日本実験動物学会総会



若手研究者のための国際学会参加費用の一部助成2022AGA-DDW

■関西医科大学大学院(内科学第三講座) 四十万谷 卓也 大学院生

■テーマ Magnifying narrow-band imaging features can predict epigenetic anomaly in the Barrett's esophagus

■授与学会 Digestive disease week 2022





教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介します。
(主に令和4年4月1日～6月30日 ※判明分のみ)

医学部 精神神経科学講座 加藤 正樹 准教授	医療NEWS QLifePro (4月12日)	加藤准教授らの研究グループが、うつ病治療前サイトカイン値に基づく薬剤選択で寛解率が上昇する可能性があることを示した論文が取り上げられ、どの抗うつ薬を選択するのがよいかの参考となり、一人一人の患者の治療を最適化することにつながるものと考えたコメントとあわせて掲載されました。
医学部 精神神経科学講座 加藤 正樹 准教授	m3.com (4月13日)	精神神経科学講座加藤正樹准教授らの研究グループが、うつ病治療前サイトカイン値に基づく薬剤選択で寛解率が上昇する可能性があることを示した論文が取り上げられ、一人一人の患者の治療を最適化することにつながるものと考えたコメントとあわせて掲載されました。
医学部 形成外科科学講座 覚道 奈津子 教授	読売テレビ「すまたん」 (4月13日)	「はくろ」についての質問に回答し、一般的な疑問やはくろが増える傾向についての見解、はくろの様子が変わった場合は受診するようにといったアドバイスがパネルで紹介されました。
医学部 心療内科科学講座 速尾 英明 教授	読売テレビ「すまたん」 (4月25日)	「五月病」について回答した内容がパネルで放送され、五月病になりやすい人の傾向や、症状が出た場合の対処法として自身に合ったストレス解消法に打ち込むことなどが紹介されました。
医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科科学講座 藤澤 琢郎 講師	産経新聞 朝刊 (4月25日)	附属病院での光免疫療法の治療にあたった医師としてインタビューを受け、治療を受けた患者さんの経過や「(同療法は)患者のQOLを担保しやすい」とのコメントが掲載されました。
医学部 健康科学教室 木村 稔 教授	ハルメク2022年6月号 (5月10日)	特集「ほっこりお腹解消!の最新常識」において、木村教授監修の記事が掲載され、内臓脂肪を減らすためには普段何気なくしている行動を振り返り改善することが大切だと解説しました。
医学部 救急医学講座 宮崎 助教	朝日放送「newsおかえり」 (5月10日)	高度救命の現場で育児と仕事を両立するドクターとして密着取材を受けた様子が紹介されました。
看護学部 精神看護学領域 三木 明子 教授	日経ヘルスケア (5月10日)	「医療・介護現場の暴力対策」特集において解説。在学ケア従事者が暴力・ハラスメント被害にあう状況の分析や課題解決への提言、訪問看護師を対象に行った介護現場におけるハラスメントに関する調査研究結果などが掲載されました。
看護学部 精神看護学領域 三木 明子 教授	「MEDICAL NEWS LINE」m3.com (5月11日)	医療従事者に向けられる暴力行為を特集したコーナーの中で看護師が患者からの暴力ハラスメントの被害を受けやすい要因や、医療従事者のための暴力を抑制させる仕組みについて紹介しました。
医学部 健康科学教室 木村 稔 教授	毎日放送「ゲンキの時間」 (5月15日)	無理なく痩せるダイエットを特集した番組内で、おすすめの肥満改善法として1日だけダイエットを紹介しました。
医学部 腎泌尿器外科科学講座 木下 秀文 教授	読売新聞 夕刊 (5月17日)	連載企画「医なび」において「尿路結石」の症状や原因、結石の種類や治療の歴史などについて幅広く解説し、予防法などについてもコメントした記事が掲載されました。
医学部 精神神経科学講座 加藤 正樹 准教授	日経バイオテクノLINE (5月18日)	世界で初めて網羅的にmiRNAを解析し抗うつ薬の予測に有用であることを示した論文について取り上げられ、プレスリリースが紹介されました。
医学部 形成外科科学講座 覚道 奈津子 教授	Medical Tribune (5月20日)	第65回日本外科学会キャリア支援委員会企画シンポジウムで女性形成外科医のキャリア形成に関する講演をしたことが、その講演概要とあわせて掲載されました。
医学部 眼科学講座 高橋 寛二 教授	日経ドラッグインフォメーション (6月1日)	特集身近になる抗体医薬の中で、加齢関連変性の治療における抗VEGF薬の特徴や第一選択となる生物学的製剤、投与間隔などについて解説しました。
医学部 眼科学講座 高橋 寛二 教授	夏のけんこう 2022年夏号 (6月1日)	読者からの質問に答えるコーナーにて、「結膜下出血」について解説し、多くの場合自然に治るものの、症状が長引くようであれば眼科を受診するようにと述べました。
附属病院 がんセンター 松本 俊彦 センター助教	日経バイオテック (6月2日)	松本センター助教らの研究チームが実臨床の胃がん患者さんに対する新規抗がん剤(T-DXd)の有効性を検証した論文が取り上げられ、プレスリリースが紹介されました。
医学部 呼吸器腫瘍内科学講座 吉岡 弘銀 准教授	日経メディカルOnline内がんナビ (6月9日)	6月3日から7日にシカゴとハイブリッド形式で行われた米国臨床腫瘍学会(ASCO 2022)において、細胞の増殖に関わるタンパク質の一つであるEGFRの変異を有する進行非小細胞肺癌の1次治療として、低用量アファニニブと蛋白分解酵素阻害薬であるDEP-14323の併用が、良好な無増悪生存期間(PFS)を示すことを明らかにした研究内容について発表されたことが紹介されました。
医学部 外科学講座 山崎 誠 准教授	日経メディカルOnline内がんナビ (6月9日)	日本食道学会と患者支援団体の食道がんサバイバーズシェアリングが、オンラインで開催した市民公開講座「知って備えて学んで予防 正しく知ろう食道がんの事」において「食道がんと診断され、手術を受けるということ」をテーマに講演した内容が紹介されました。
医学部 内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	読売新聞 朝刊 (6月11日)	「からだの質問箱」に寄せられた誤嚥性肺炎予防に関する質問に対し、誤嚥性肺炎がおきる仕組み、口腔ケアの必要性や嚥下体操、就寝時の対策などの具体的な予防法を解説しました。
看護学部 精神看護学領域 三木 明子 教授	読売新聞 朝刊 (6月14日)	診療所の安全性を高める取り組みについて扱った記事で「ささいなことでも報告しやすい仕組み作りを進めるべきだ。近隣の医療機関同士でも情報共有するなど、対応力を高める工夫が必要」と述べたコメントが掲載されました。
関西医科大学	m3.com (6月15日)	令和5年度入学生から医学部と看護学部の学費を引き下げることが紹介されました。
オール女性医師キャリアセンター 植村 芳子 センター長	m3.com (6月16日)	近年の女性医師を取り巻く環境、センター開設の経緯、センターの活動内容、女性医師復帰プログラムなどについて答えたインタビューの内容が掲載されました。
医学部 内科学第三講座 長沼 誠 教授	日経メディカルOnline (6月20日)	「どう使い分ける? 潰瘍性大腸炎の分子標的薬」と題した特集の中で、治療に使用する経口薬が3種類に増えたことについて、「経口薬は外来でも使いやすく、患者からの受けもよい。経口薬の選択肢が広がったことで医療者、患者双方にメリットがあるだろう」と評価したコメントなどが掲載されました。
看護学部 精神看護学領域 三木 明子 教授	日経メディカルOnline (6月20日)	医療現場における暴力やハラスメントについて取り上げた記事で、事件の起る背景や今後の対策、社会として対応することの必要性などについて解説しました。
オール女性医師キャリアセンター 植村 芳子 センター長	m3.com (6月29日)	育児・産休の取得状況、病児保育室の開設、女性医師のさらなる活躍のために必要な活動、センターとしての今後の展望などについて答えたインタビューの内容が掲載されました。

《光免疫医学研究所関連》

開設関連	NHK「ニュースはっと関西」(4月20日)	枚方つーしん(4月25日)
	関西テレビ「Live News α」(4月20日)	月刊AGORA(5月1日)
	テレビ大阪「やさしいニュース」(4月20日)	朝日新聞 朝刊(5月3日)
	時事ドットコム(4月20日)	毎日新聞 朝刊(5月23日)
	毎日放送「THE TIME」(4月21日)	テーマス2022年6月号 No.356(6月1日)
研究関連	日本経済新聞 朝刊(4月21日)	週刊文春 2022年6月23日号(6月16日)
	薬事日報(4月25日)	アソースタイムズ(6月20日)
	産経新聞 朝刊(4月25日)	医療新聞DIGITAL(6月29日)
研究関連	時事メディカル 6月30日	

《新型コロナウイルス感染症関連》

医学部 内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	毎日放送「よんちゃんTV」 4月21日、5月20日・26日・31日、6月23日
医学部 救急医学講座 中森 靖 診療教授	NHK「かんさい熱視線」 4月22日 NHK NEWS WEB 5月24日
医学部 内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 4月27日、5月2日・13日

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

6月からすでに国内の観測地点で40℃を超える場所も出るほどの酷暑に加えて、重たい話題が多い夏の始まりを迎えています。各地では久方ぶりの花火大会やお祭りが開催されています。夏がくればと続く思い出に、明るい話題も残りますように。何よりもまずは健康第一で過ごせればと思います。(M)

関西医科大学広報 Vol.58

発行 学校法人 関西医科大学
編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)
FAX 072-804-2638

https://www.kmu.ac.jp/
E-mail:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

令和4年7月29日(金)発行